

就学児童用ニーズ調査の結果報告書（案）について

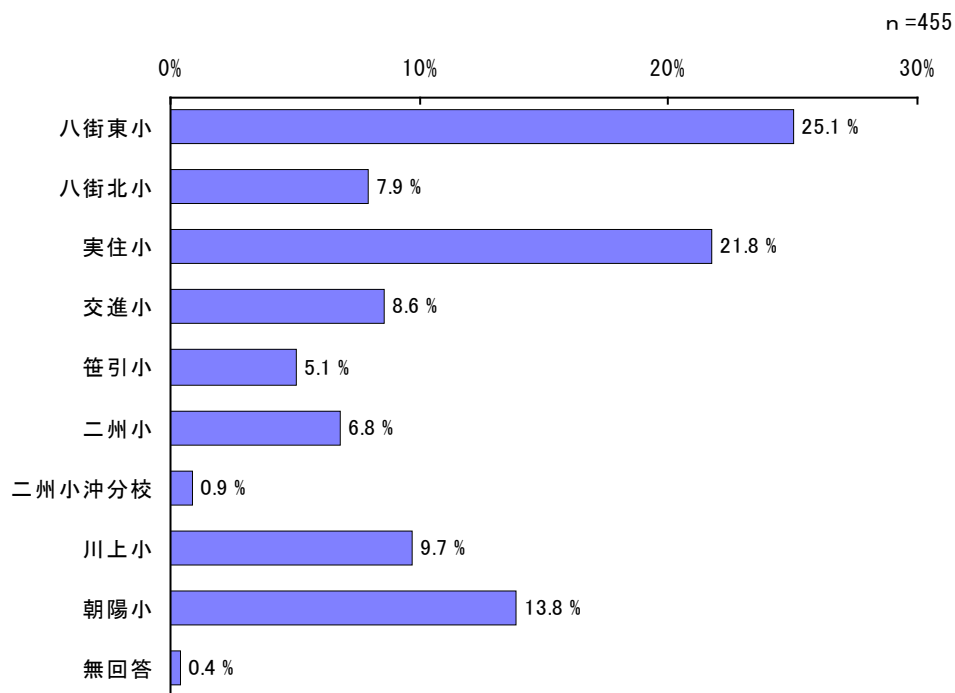
**平成26年5月9日
八街市市民部児童家庭課**

Ⅱ 就学児童調査

1. 回答者のプロフィール

(1) 小学校区

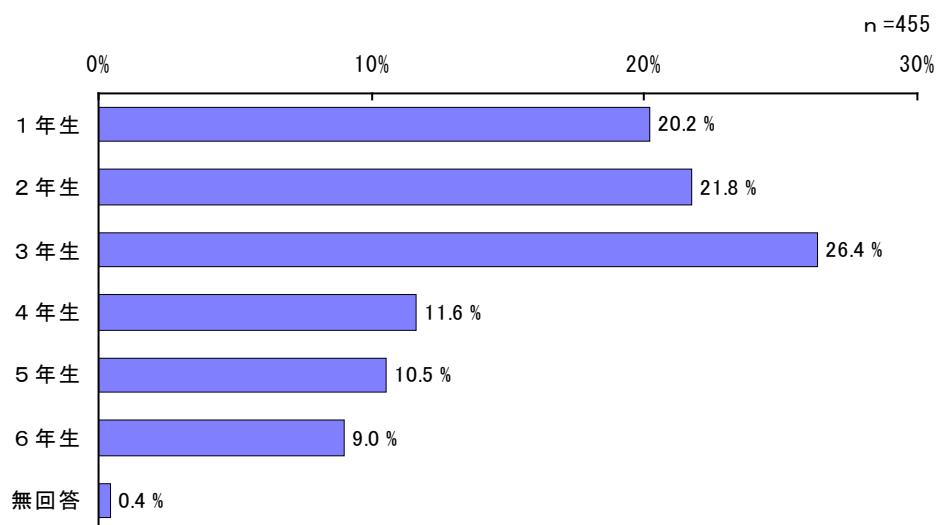
問1 お住まいの地区の小学校区として当てはまる答えの番号 1 つに○をつけてください。



○回答者の小学校区は、「八街東小学校」25.1%が最も多く、次いで「実住小学校」21.8%、「朝陽小学校」13.8%、「川上小学校」9.7%などである。

(2) 子どもの年齢

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

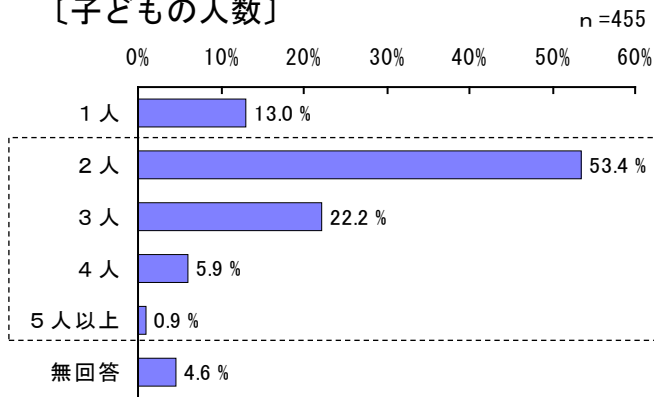


○調査対象の子どもの学年は、「3年生」26.4%、「2年生」21.8%、「1年生」20.2%、「4年生」11.6%、「5年生」10.5%、「6年生」9.0%である。

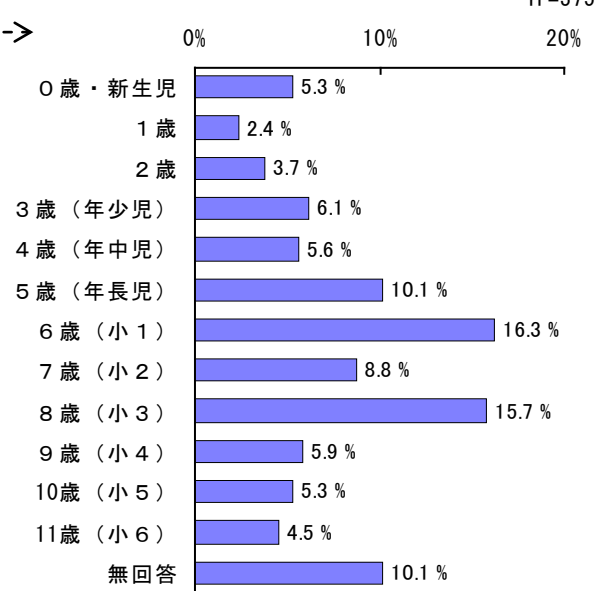
(3) 子どもの人数と末子の年齢

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

〔子どもの人数〕



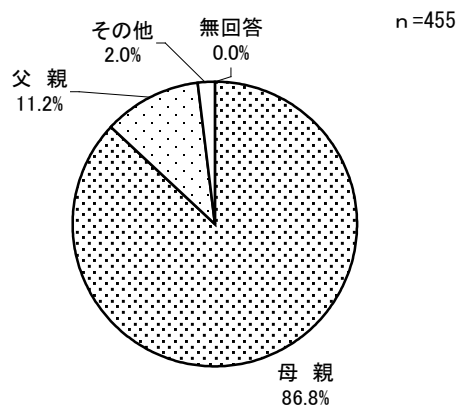
〔2人以上の場合の末子の年齢〕



○子どもの人数は「2人」53.4%が多く、次いで「3人」22.2%、「1人」13.0%などである。
○子どもが2人以上いる回答者のうち、末子の年齢は、「6歳」16.3%、「8歳」15.7%、「5歳」10.1%などである。

(4) 回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

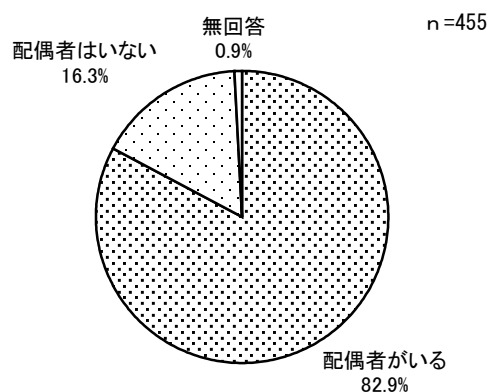


○調査票の回答者は、「母親」86.8%が8割半ばで大半を占め、「父親」11.2%、「その他」2.0%である。

○「その他」の回答は、「祖母」「祖父」「施設職員」等であった。

(5) 配偶関係

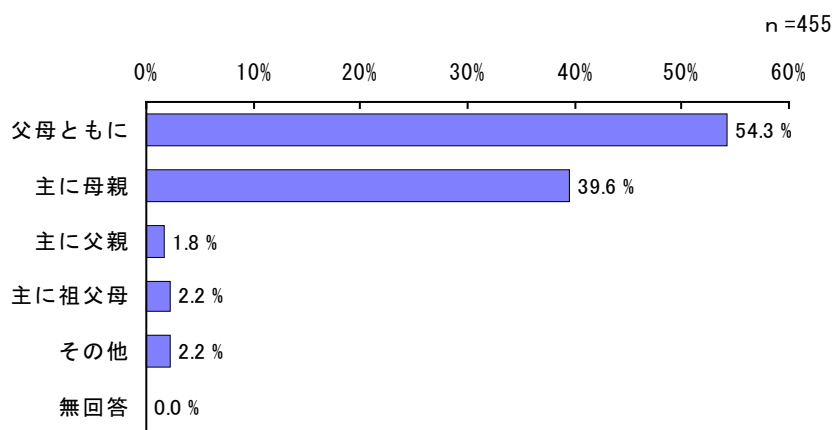
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



○「配偶者がいる」82.9%、「配偶者がいない」16.3%である。

(6) 子育てを主に行っている人

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

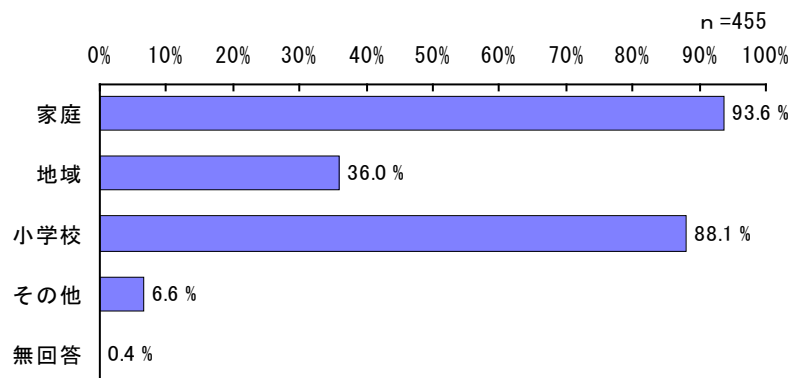


○子どもの子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が54.3%と半数を超えて多く、次いで「主に母親」39.6%などとなっている。

2. 子どもの育ちをめぐる環境

(1) 子育てに影響する環境

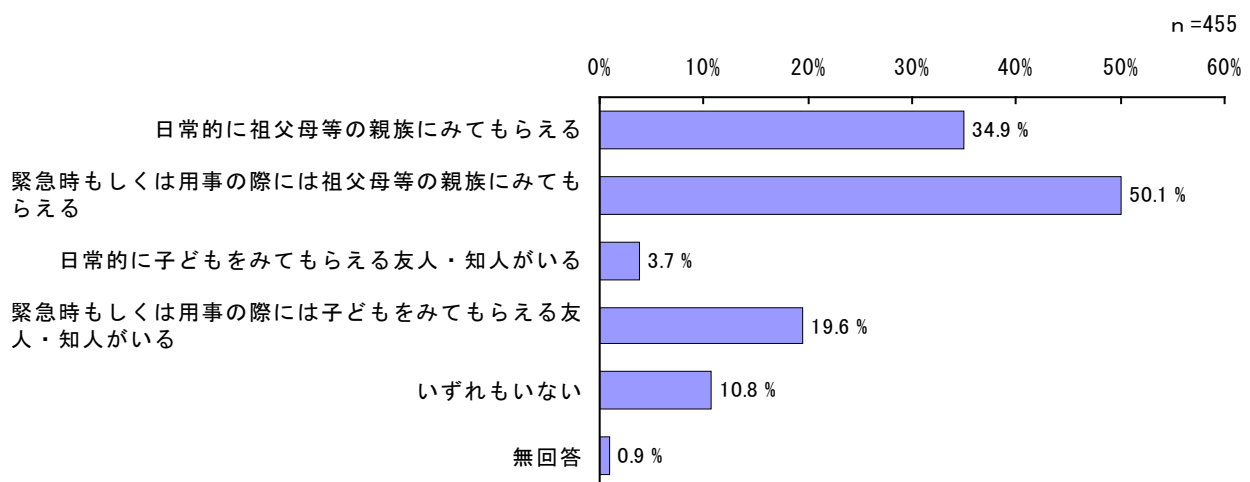
問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。



○子育てにもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」93.6%、「小学校」88.1%がいずれも9割前後で多く、次いで「地域」36.0%などである。

(2) 日頃のサポートの状況

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

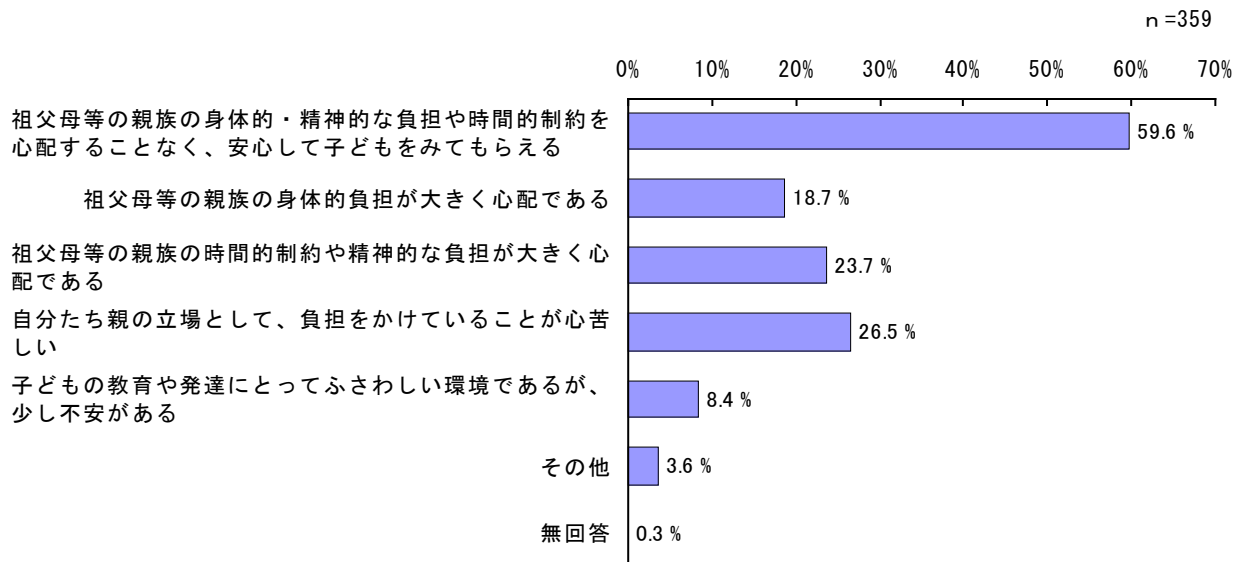


○日頃のサポートの状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が50.1%と半数で多く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」34.9%と合わせると、「祖父母等の親族にみてもらえる」は8割半ばにのぼる。「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は19.6%、「いずれもない」は10.8%である。

(3) 祖父母からのサポートの状況

問9-1 問8で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

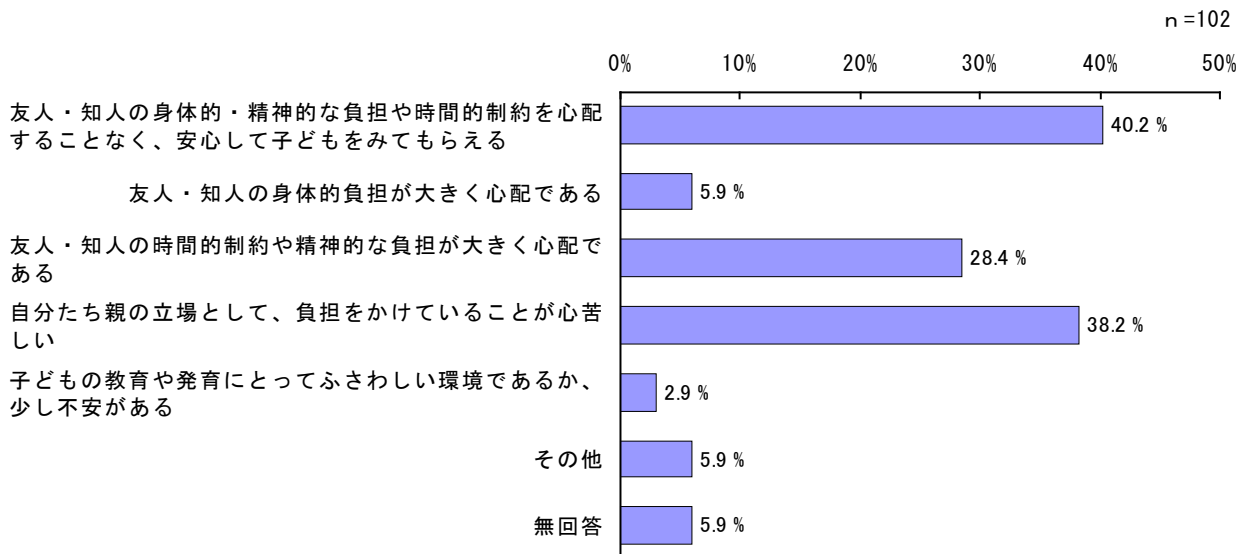


○日常的にもしくは緊急時に祖父母等の親族に子どもをみてもらえると回答した人にその状況についてたずねたところ、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」59.6%が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」26.5%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」23.7%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」18.7%などである。

(4) 友人・知人からのサポートの状況

問9-2 問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

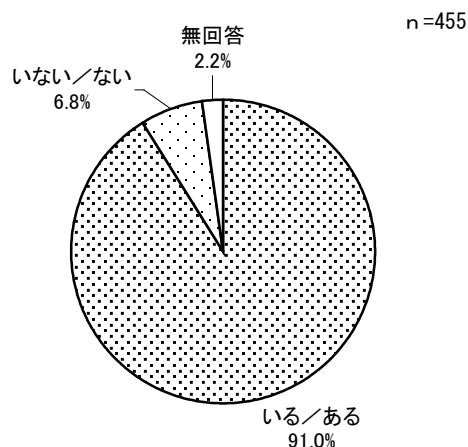
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○日常的もしくは緊急時に友人・知人に子どもをみてもらえると回答した人にその状況についてたずねたところ、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」40.2%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」38.2%が、いずれも4割前後で多く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」28.4%などである。

(5) 子育てに関する相談先の有無

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

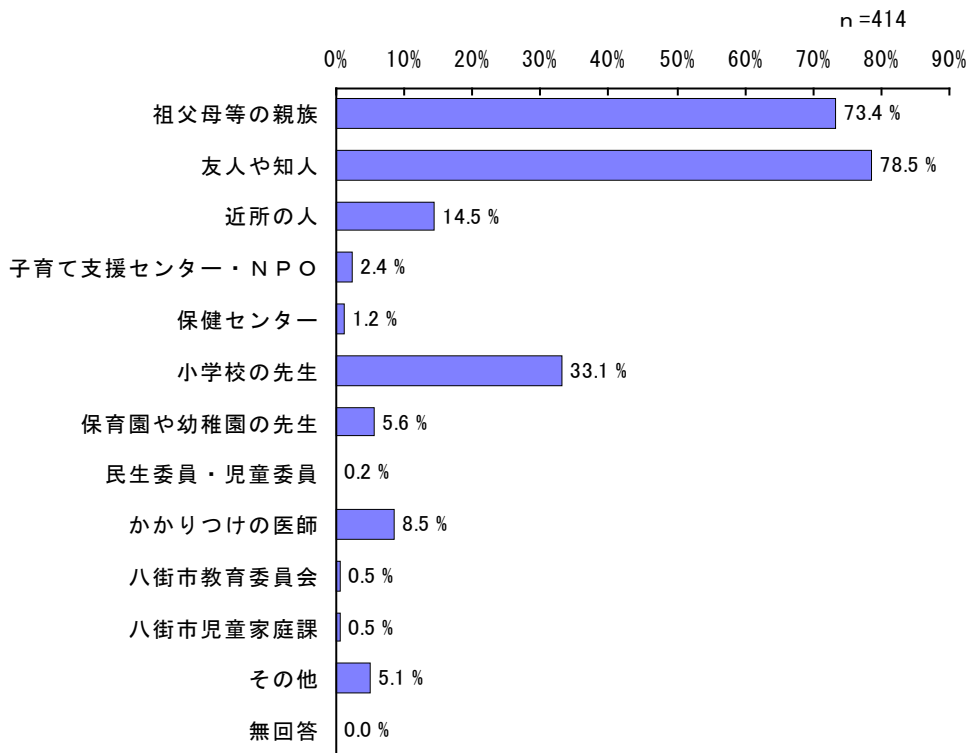


○子どもの子育てをする上で気軽に相談できる人が「いる/ある」が91.0%と9割を占め、「いない/ない」は6.8%である。

(6) 子育てに関する具体的な相談先

問 10-1 **問 10 で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。**

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○相談先があると回答した人に、具体的な相談先をたずねたところ、「友人や知人」78.5%、「祖父母等の親族」73.4%がいずれも8割弱で多く、次いで「小学校の先生」33.1%、「近所の人」14.5%、「かかりつけの医師」8.5%などである。

(7) あればよいと思う周囲からのサポート

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

<学校、学童保育などについて>

- 学童保育の充実
- 6年生まで預かってほしい。
- 土日祝日も19時まで預かってほしい。
- 放課後子ども教室ができるといい。
- 長期休業時の学童開始時間が8時からでは、仕事を遅刻しないといけなくなるので時間を早めてほしい。
- 学級担任に子供の様子等を話したりする時間を増やしてほしい。

<子どもへの支援>

- 昔ながらの遊びを子どもに教えてほしい。
- 子供と地域がつながるようなサポート
- 子どもが気軽に遊べる場所
- 学校の事をフォローしてほしい。

<一時預かりのサポート>

- ファミリー・サポート・センター
- 少しの時間でも、気兼ねなく預かってもらいたい。
- 病児保育
- 急な残業時などにみてほしい。
- 病気やケガで学校に行けない時、迎えに行ってくれたり、病気やケガの時でも預かってくれる所

<相談先>

- 気軽に相談にのってもらえる環境
- じっくり話を聞いてくれる場所

<情報提供>

- 情報の共有
- 特別支援学級などについての、市からの案内や情報
- どのようなサポートがあるか分からない。誰にでも分かるように市から情報を出してほしい。
- 学校以外での活動（スポーツなど）の情報提供

<環境面の整備>

- あたたかい挨拶、笑顔
- 子供に困った事が家庭以外で起こった時にすぐ入って相談できる家、又はホームがあるとよい。
- 子どもが遊べるところがほしい。
- 通学路を安全にしてほしい。通学時に危険な所が多い。
- 通学路等の歩道が狭い為特に低学年の子は登下校の際、交通事故が心配です。道路に色をつけたり、線を引いたりする等何らかの工夫があると良い。
- いけない事は見て見ぬふりはしないで注意してくれる環境
- 発達障害などの子供が遊びに行ったり、相談できる場所が欲しい。
- 夕方～夜にかけてパトロール

<その他>

- 親として周りの意見に惑わされるのは嫌い。
- 金銭面の援助
- 児童手当の増額

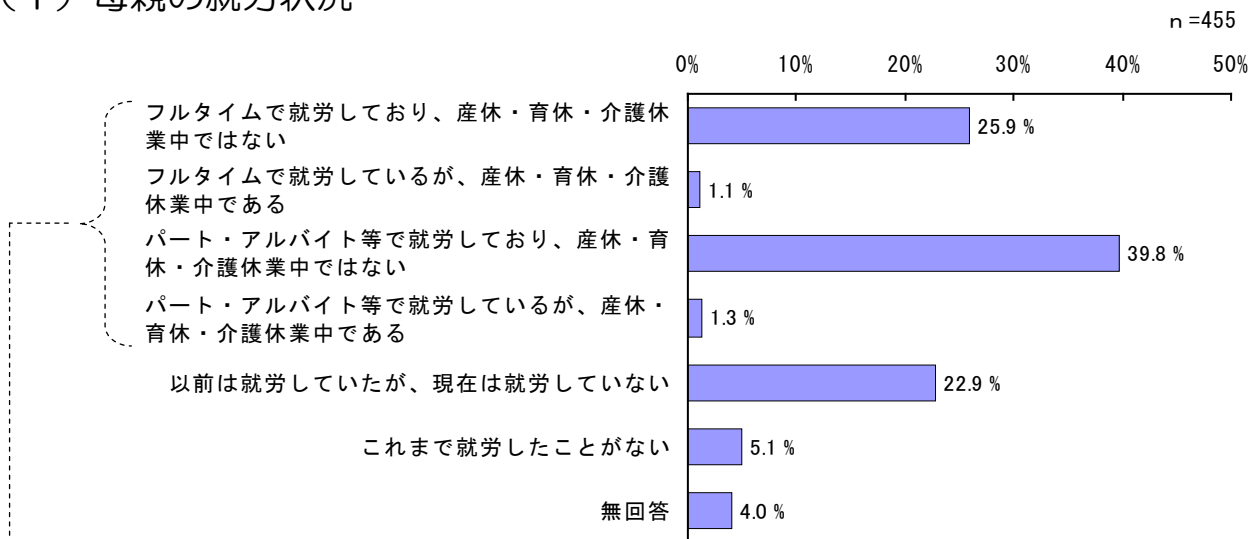
3. 保護者の就労状況

問 12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況*（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所1つに○をつけてください。

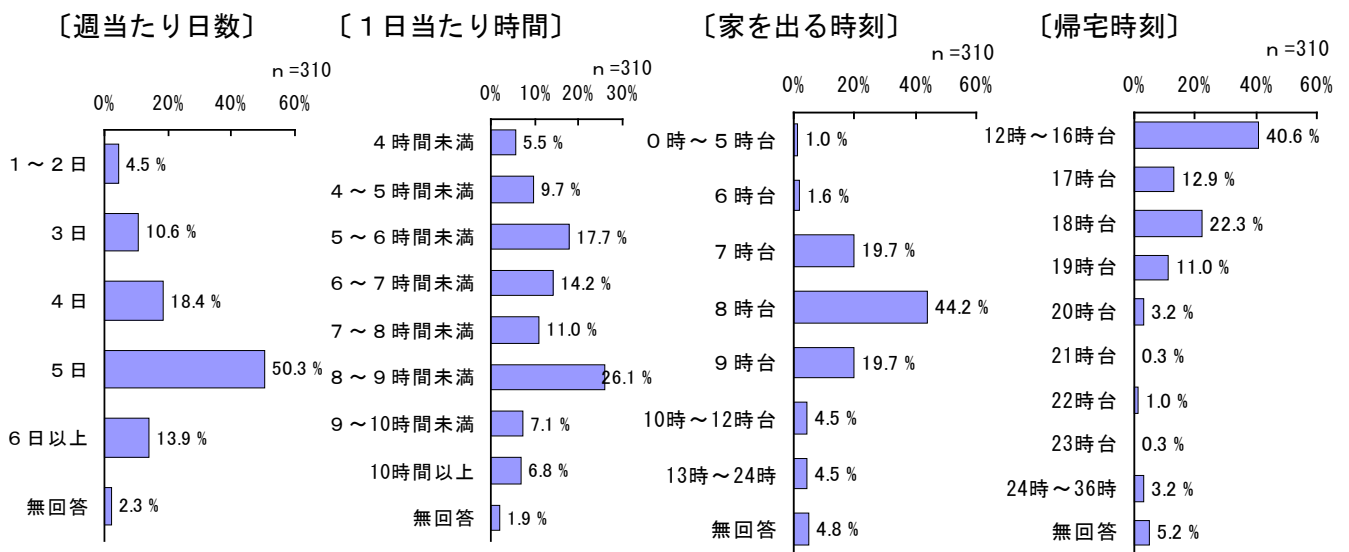
問 12-1 問 12で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）

（1）母親の就労状況



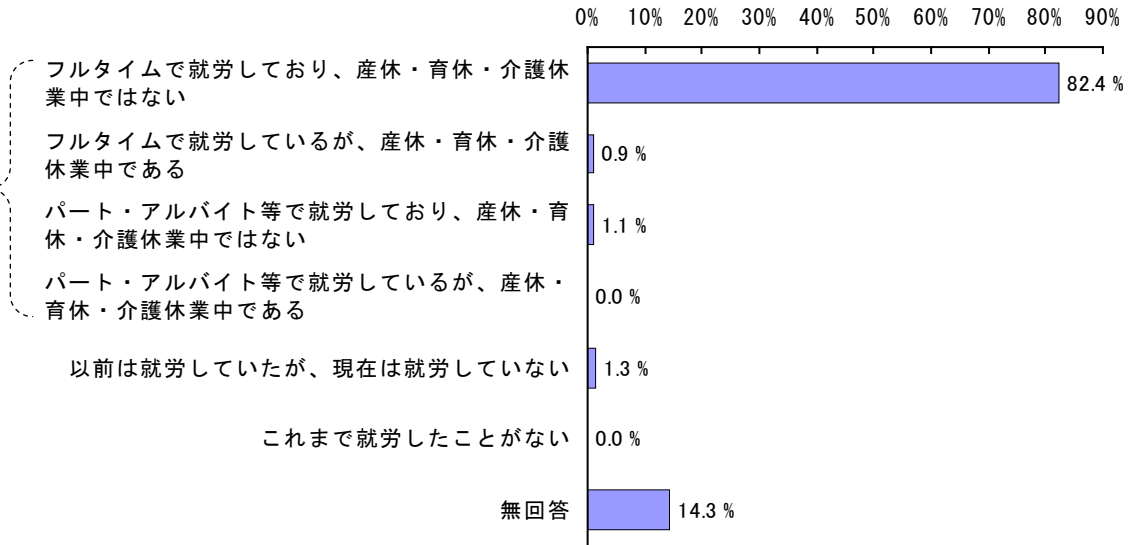
○母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」39.8%が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」25.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」22.9%などである。



* ここでいう「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の就労のことである。「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の就労のことである。

(2) 父親の就労状況

n=455



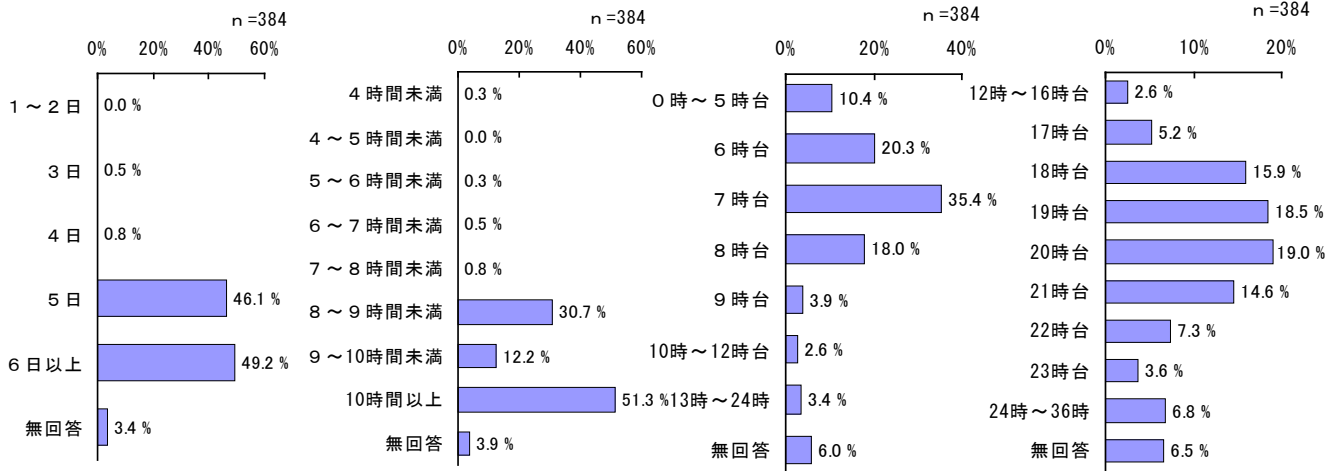
○父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」82.4%が8割強で多く、他の項目は1%前後である。

〔週当たり日数〕

〔1日当たり時間〕

〔家を出る時刻〕

〔帰宅時刻〕

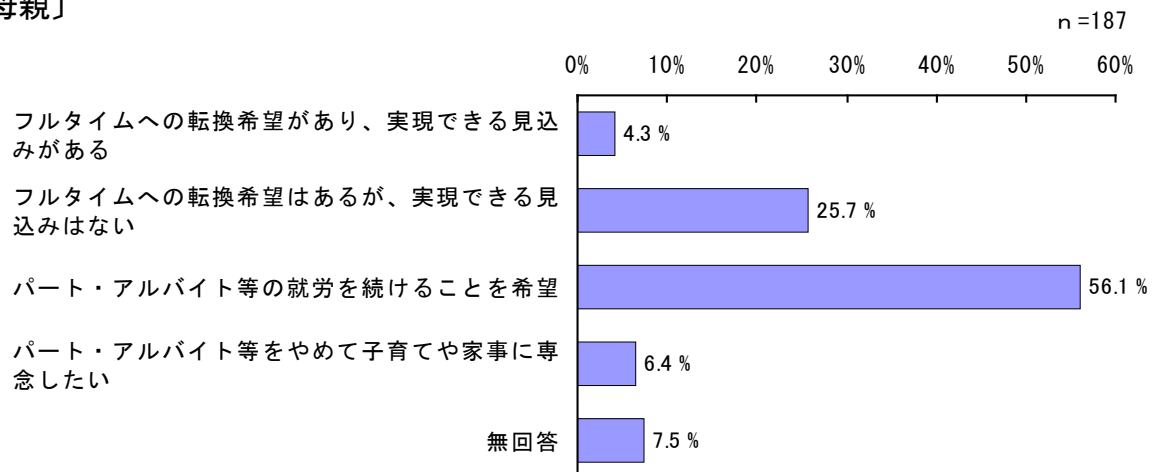


(3) パートタイムで働いている親のフルタイムへの転換希望

問 13 問 12で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問 14へお進みください。

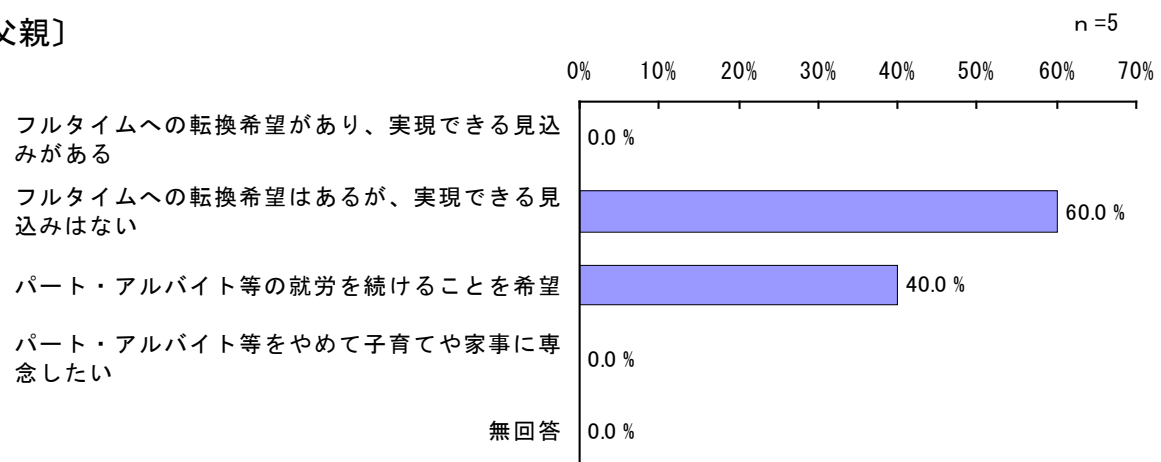
フルタイムへの転換希望はありますか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所1つに○をつけてください。

〔母親〕



○パート・アルバイト等で就労している母親に、フルタイムへの転換希望についてたずねたところ、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が56.1%と半数を超えて多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」25.7%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」6.4%などである。

〔父親〕



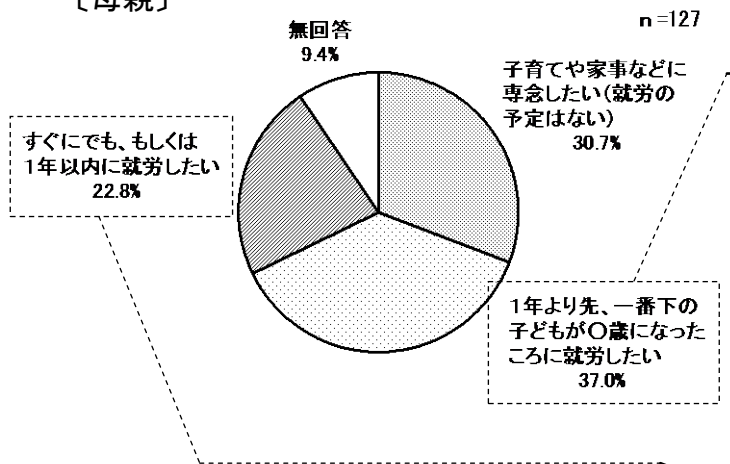
○パート・アルバイト等で就労している父親5人に、フルタイムへの転換希望についてたずねたところ、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が3人、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」2人である。

(4) 無職の人の就労希望

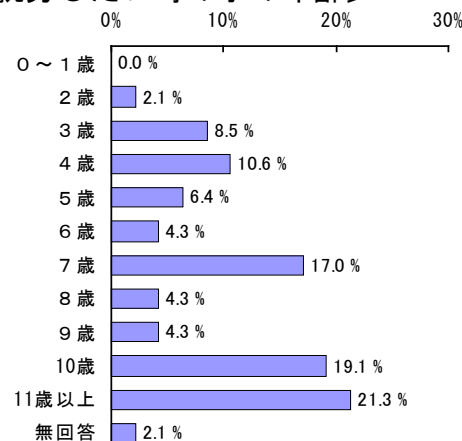
問 14 問 12 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

〔母親〕



〔就労したい時の子の年齢〕

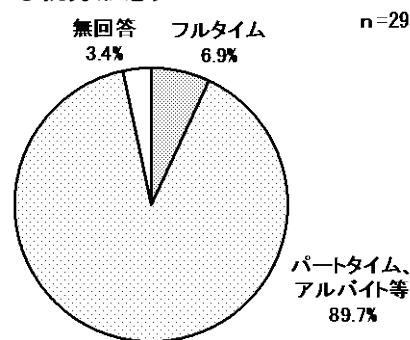


○無職の母親 127 人に今後の就労希望をたずねたところ、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」が 37.0%と多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」30.7%、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」22.8%である。

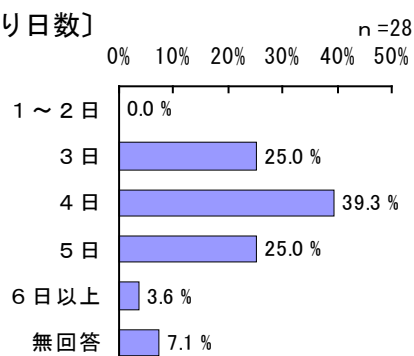
○「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」と回答した人の子どもの年齢は、「11歳以上」21.3%が最も多く、次いで「10歳」19.1%、「7歳」17.0%、「4歳」10.6%などである。

○「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」89.7%、「フルタイム」6.9%である。また、1週当たり「4日」39.3%が最も多く、次いで「5日」「3日」とともに 25.0%などである。1日当たりの時間数は「5～6時間未満」53.6%が最も多く、次いで「4～5時間未満」35.7%などである。

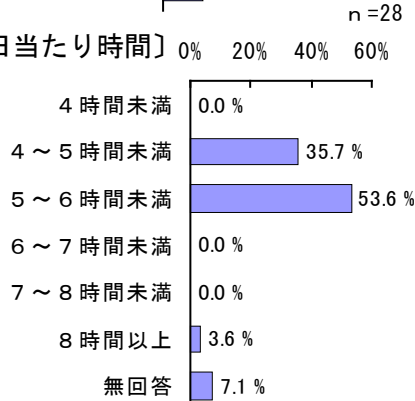
〔希望する就労形態〕



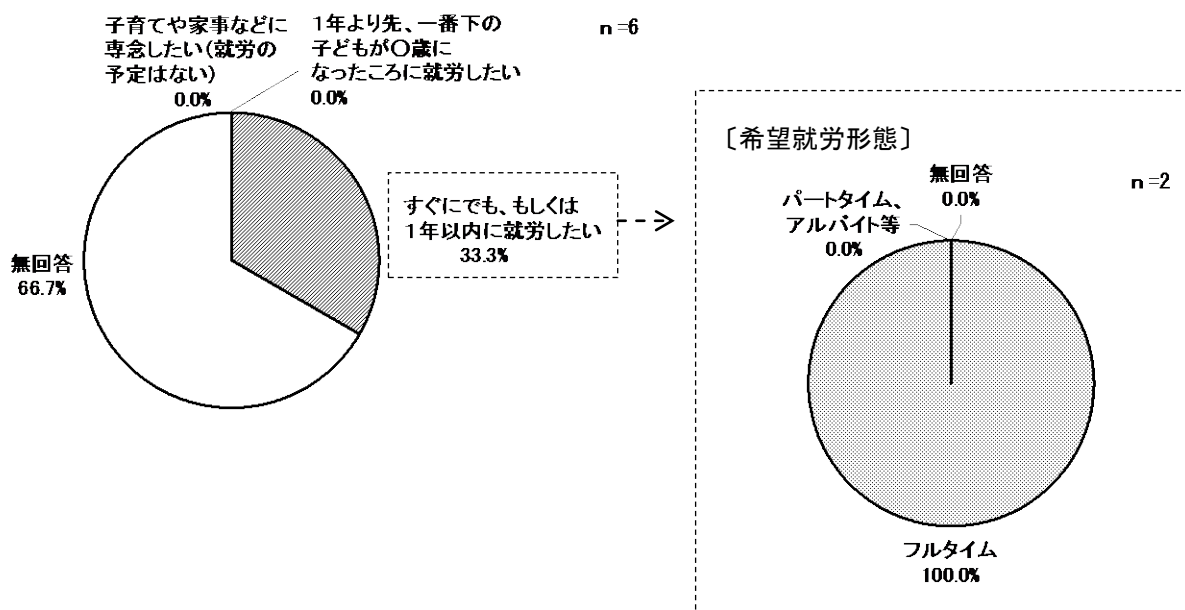
〔週当たり日数〕



〔1日当たり時間〕



〔父親〕



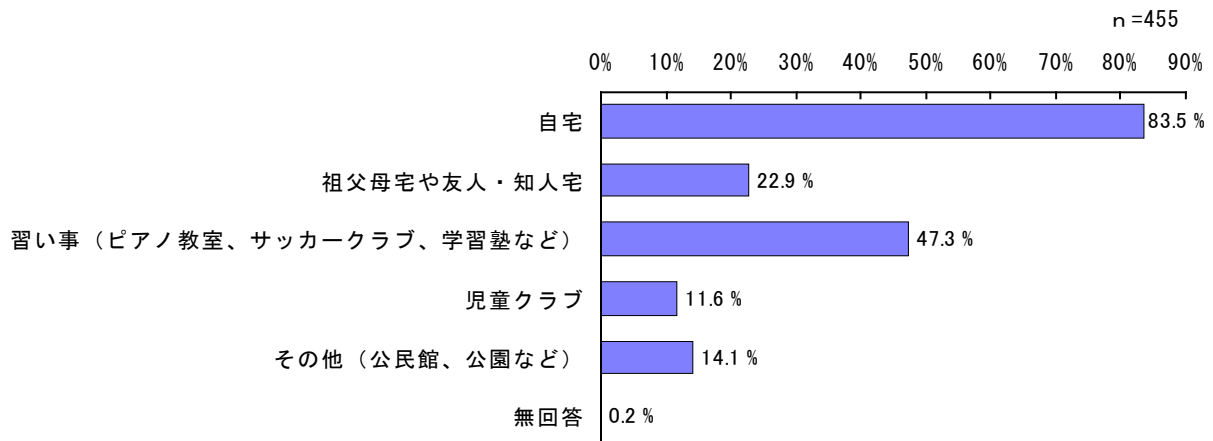
○無職の父親6人に今後の就労希望をたずねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2人、他の4人は無回答である。

○すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと回答した2人の希望就労形態は、2人とも「フルタイム」である。

4. 放課後の過ごし方

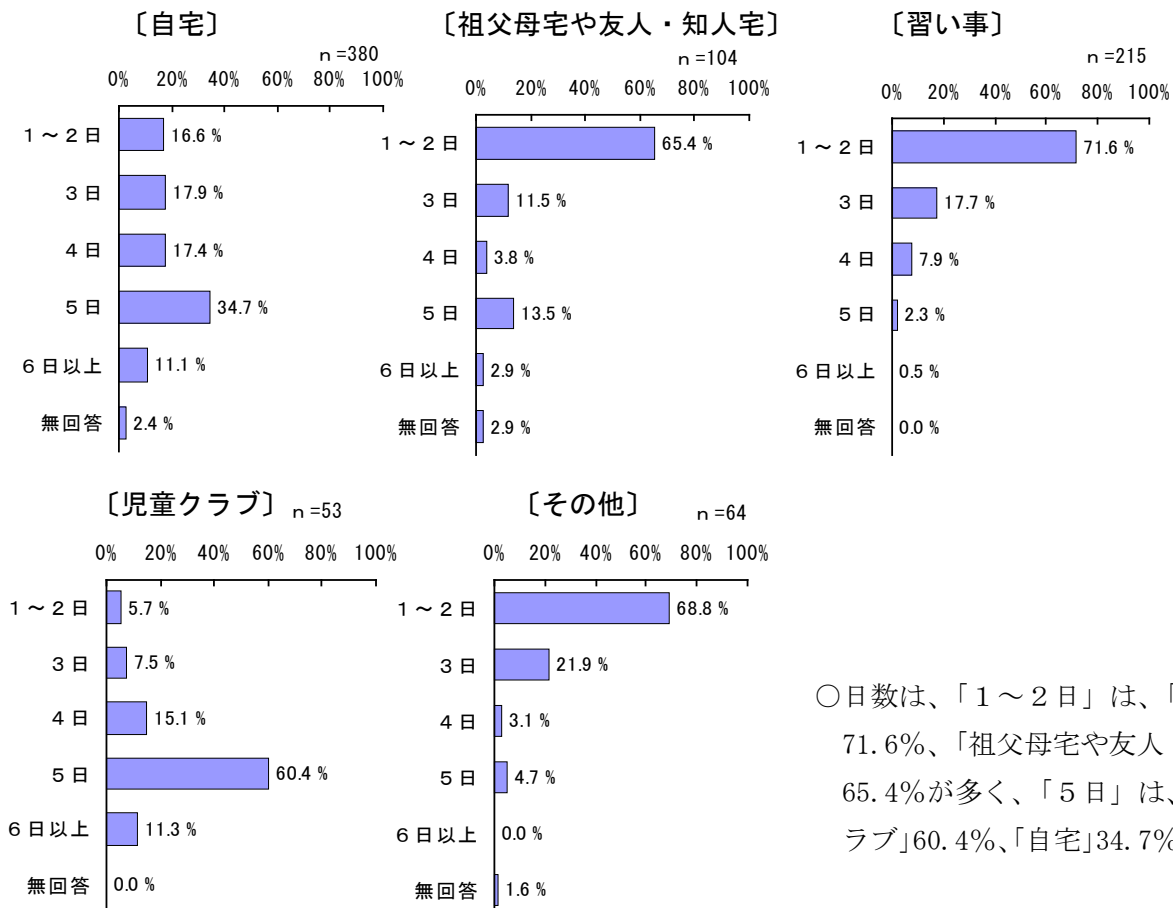
(1) 放課後の過ごし方

問 15 あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。



○放課後の過ごし方は、「自宅」83.5%が最も多く、次いで「習い事」47.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」22.9%、「児童クラブ」11.6%などである。

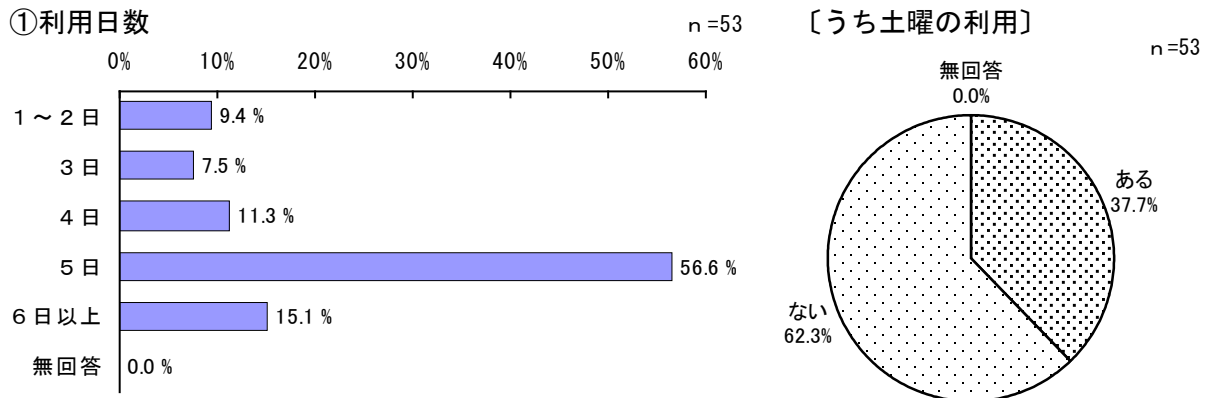
■ 日数



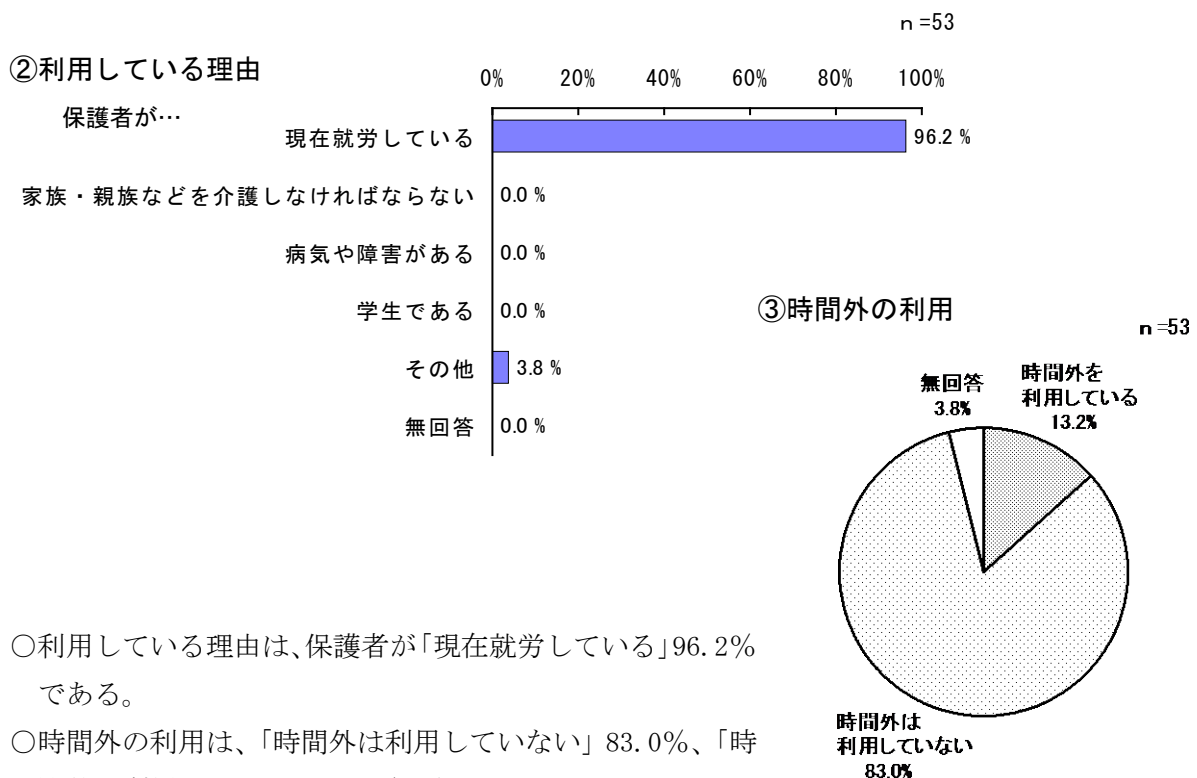
○日数は、「1～2日」は、「習い事」71.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」65.4%が多く、「5日」は、「児童クラブ」60.4%、「自宅」34.7%が多い。

(2) 児童クラブの利用状況

問 15-1 あて名のお子さんについて、児童クラブの利用日数はどれくらいですか。併せて、利用している理由、時間外の利用、利用希望時間についてお答えください。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。日数や時間等は口内に数字でご記入ください。



○「児童クラブ」を利用している人にたずねたところ、利用日数は「5日」56.6%が多く、次いで「6日以上」15.1%、「4日」11.3%などである。うち土曜の利用は「ない」62.3%、「ある」37.7%である。

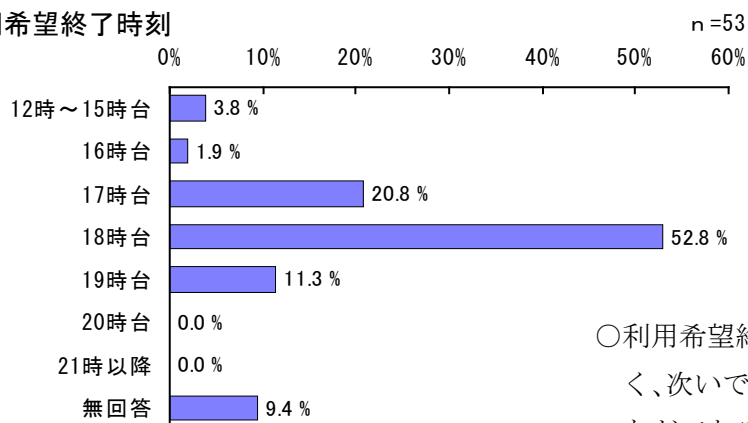


○利用している理由は、保護者が「現在就労している」96.2%である。

○時間外の利用は、「時間外は利用していない」83.0%、「時間外を利用している」13.2%である。

○時間外を利用していない人に、その理由またはどうしているかをたずねたところ、「時間外を利用する時間までに仕事が終わる、家にいる／家に家族がいるから」(31人)、「お金がかかるから」(1人)である。

④利用希望終了時刻



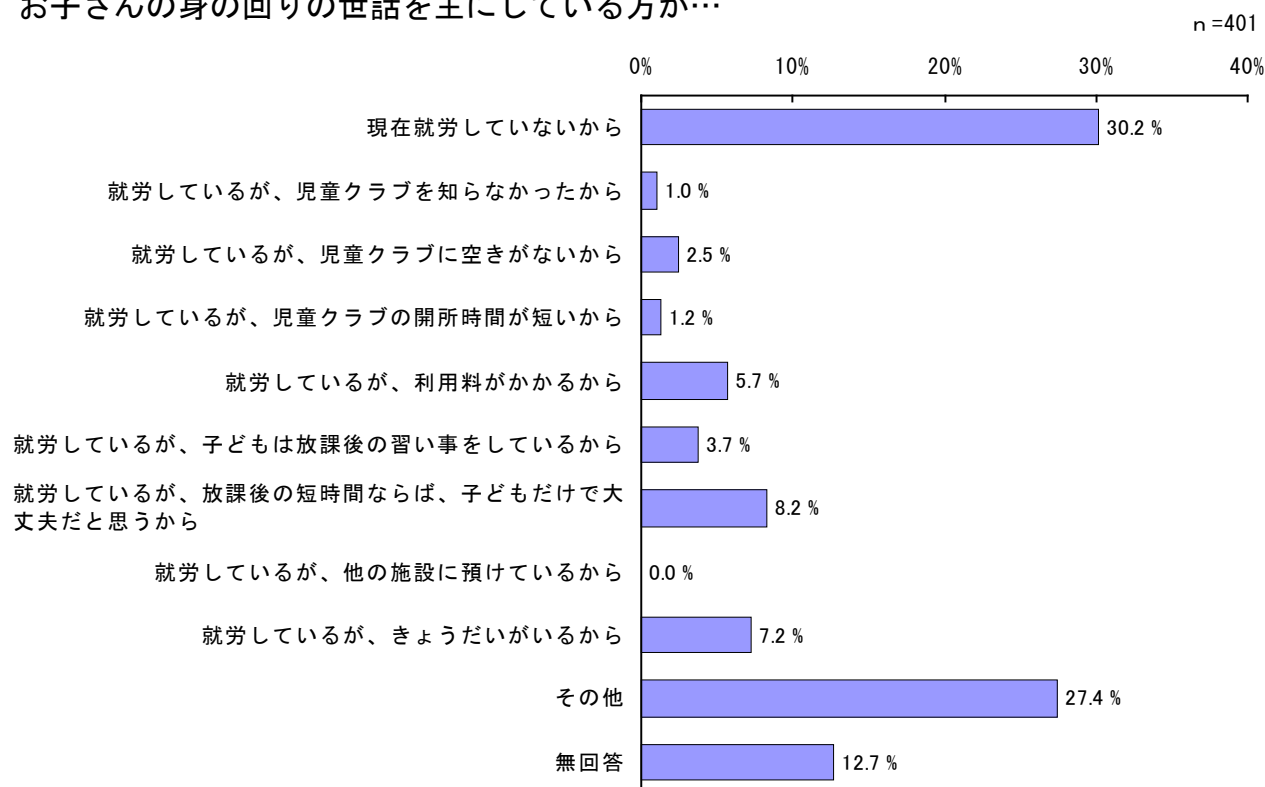
○利用希望終了時刻は、「18時台」52.8%が多く、次いで「17時台」20.8%、「19時台」11.3%などである。

(3) 児童クラブを利用していない理由

現在、児童クラブを利用していない方へ

問 15-2 利用していない理由についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が…



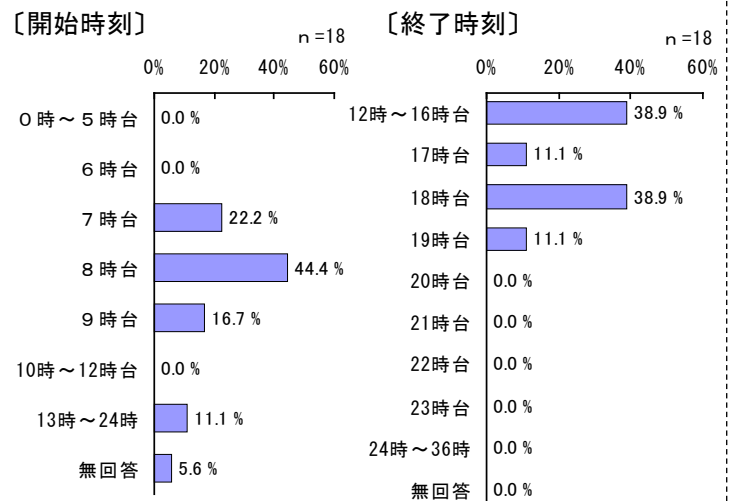
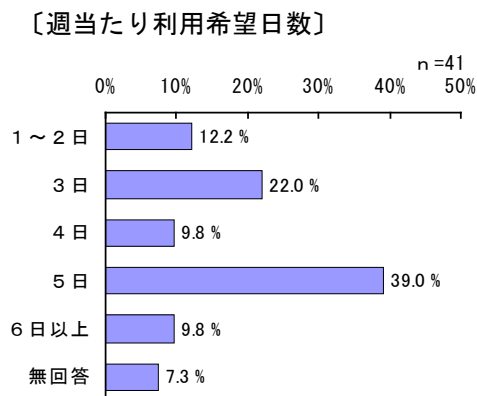
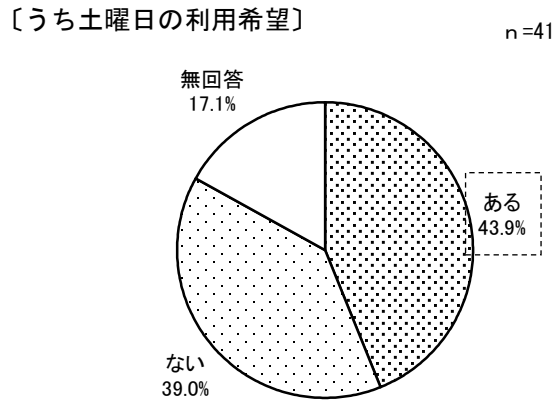
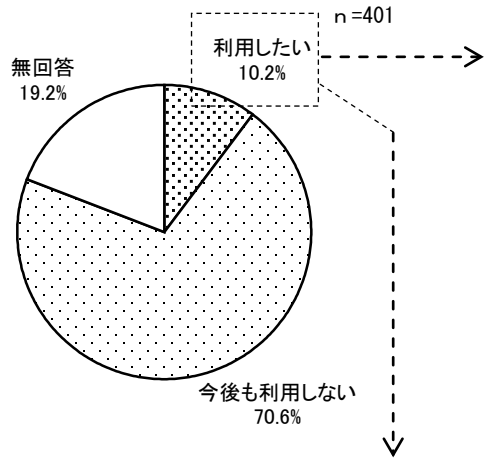
○利用していない理由は、子どもの身のまわりの世話を主にしている方が「現在就労していないから」30.2%が最も多く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけで大丈夫だと思うから」8.2%、「就労しているが、利用料がかかるから」5.7%などである。

○「その他」の主な内容は、以下の通りである。

- ・ 放課後は家にいる。／家族が家にいる。
- ・ 4年生以上で対象外だから。
- ・ 児童クラブの環境がよくないから。
- ・ 自営業だから。
- ・ 本人が行きたがらないから。
- ・ 夏休みの利用開始時間が遅いから。

(4) 現在利用していない人の、児童クラブの利用希望

問 15-3 あて名のお子さんについて、今後、児童クラブを利用したいとお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい日数や時間帯を、口内に(例) 09時～18時のように24時間制で数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。



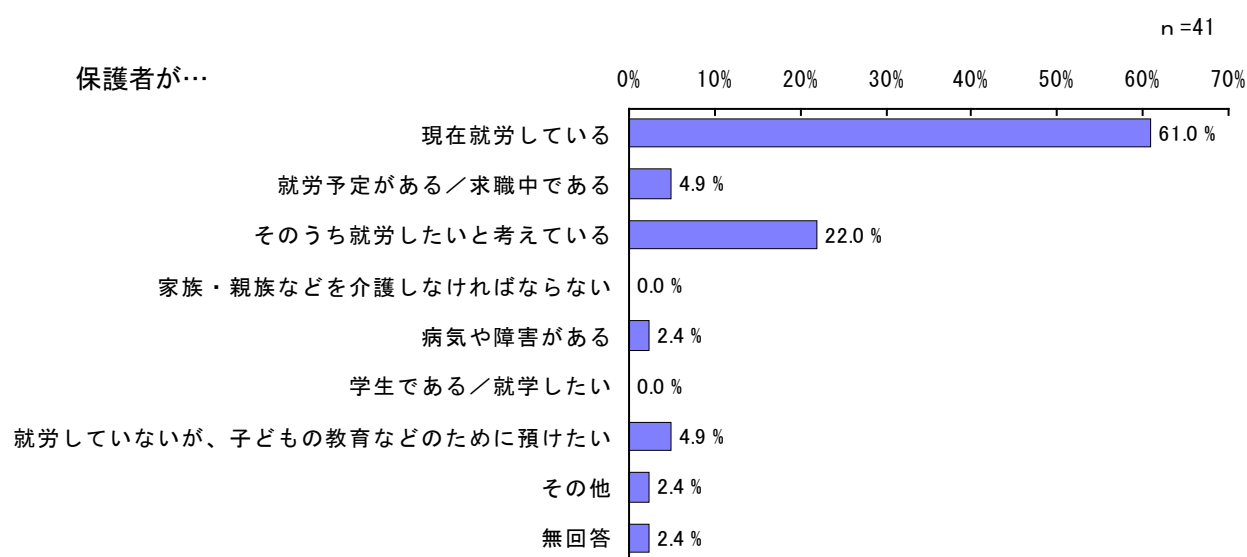
○今後の利用希望は、「利用したい」10.2%、「今後も利用しない」70.6%である。

○利用したい人の週あたり希望日数は、「5日」39.0%が多く、次いで「3日」22.0%、「1～2日」12.2%などである。また、うち土曜日の利用希望は「ある」43.9%、「ない」39.0%である。土曜日の利用希望がある人の利用開始希望時刻は「8時台」44.4%が多く、次いで「7時台」22.2%、「9時台」16.7%などである。終了時刻は、「18時台」「12時～16時台」とともに38.9%などである。

(5) 今後児童クラブを利用したい人の理由

問 15-4 問 15-3 で「1」をお選びの方へ

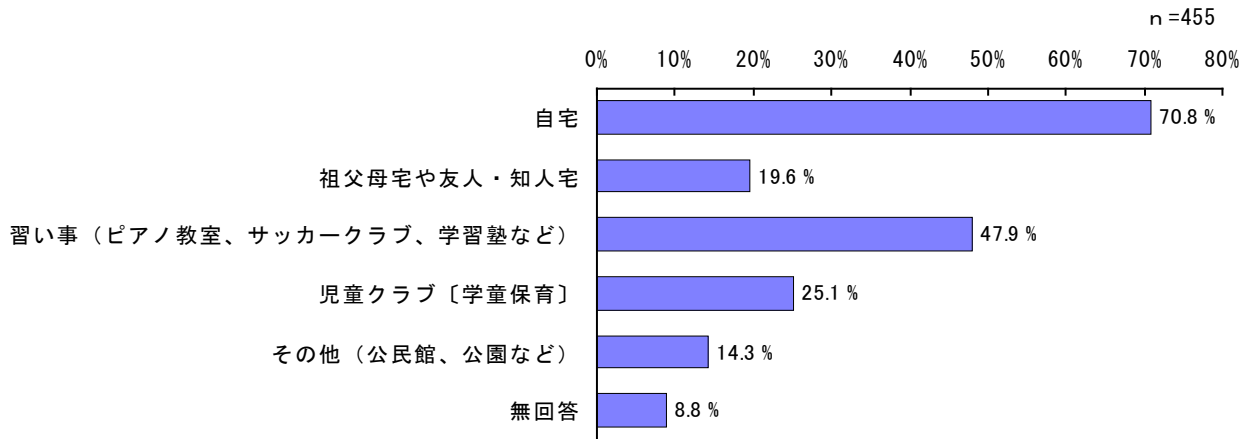
今後、児童クラブを利用したい理由についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



○今後、児童クラブを利用したい理由は、「現在就労している」61.0%が最も多く、次いで「そのうち就労したいと考えている」22.0%などである。

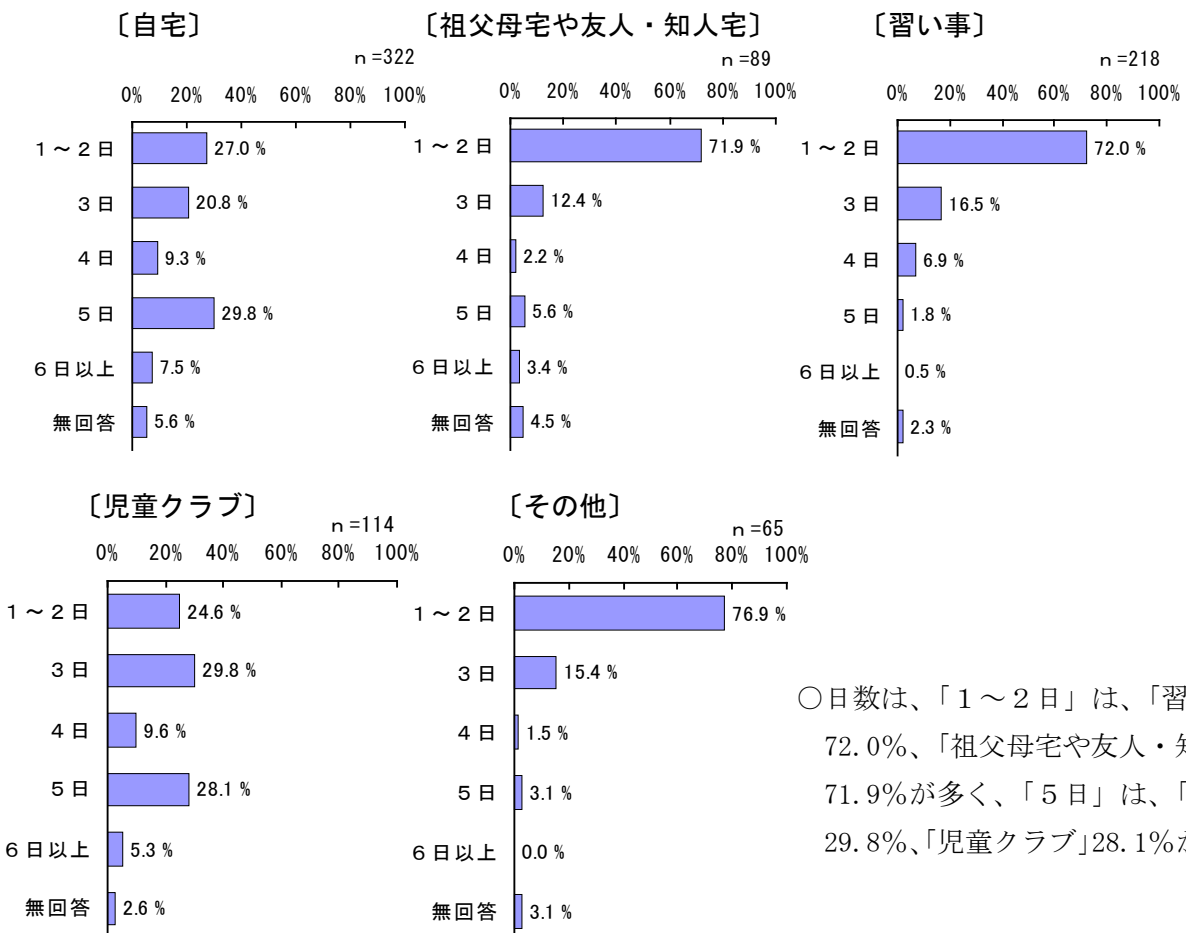
(6) 6年生まで利用できた場合の利用希望

問 16 児童クラブが6年生まで利用できるようになった場合、あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。※現在お持ちのイメージでお答えください。



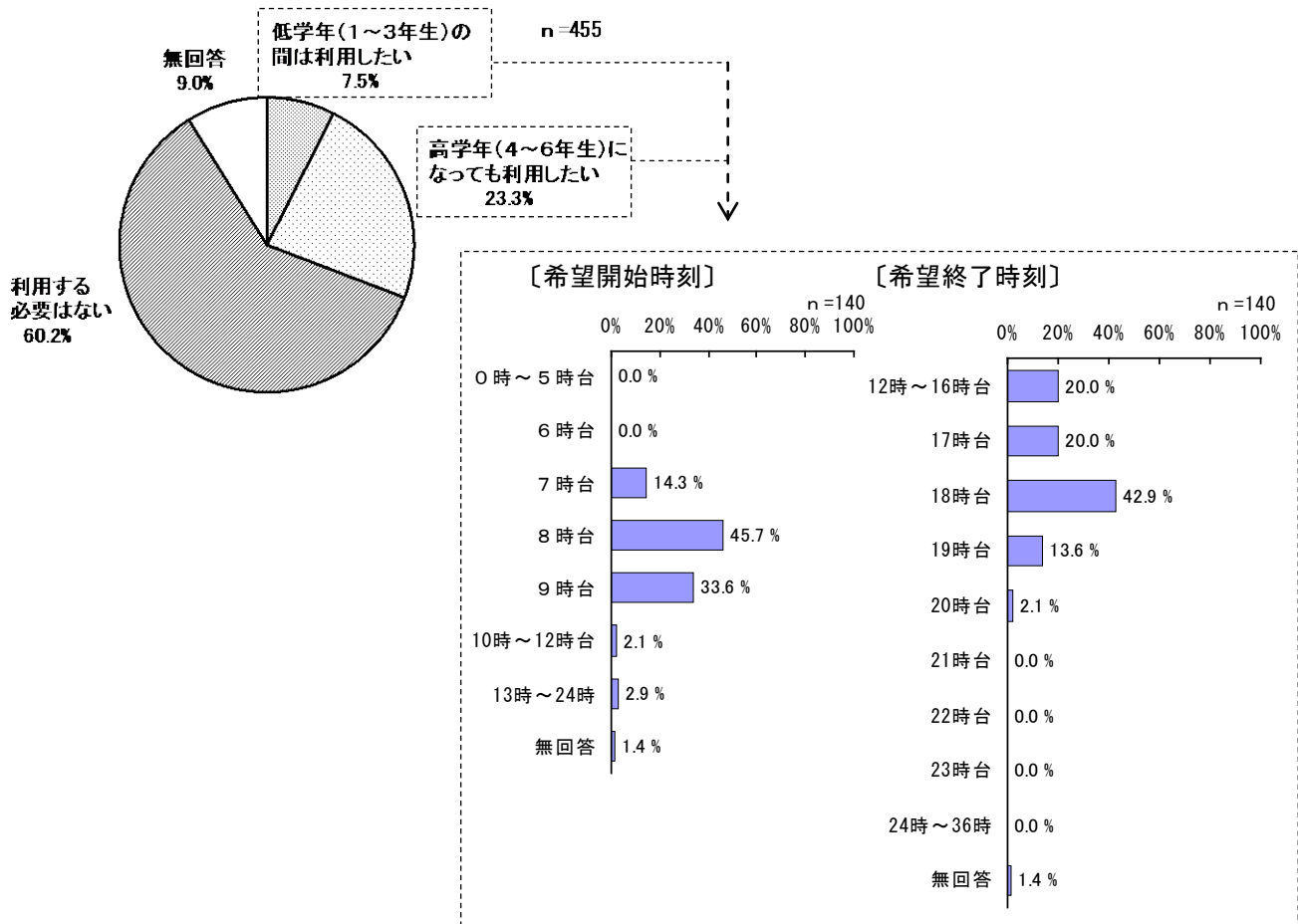
○児童クラブが6年生まで利用できるようになった場合の放課後の過ごし方は、「自宅」70.8%、「習い事」47.9%、「児童クラブ」25.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」19.6%などである。

■ 日数



(7) 長期休暇中の利用希望

問 17 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制で数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。



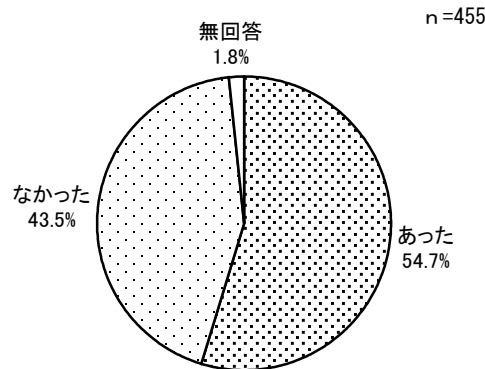
○長期休暇中の児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」60.2%が多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」23.3%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」7.5%である。

○利用を希望する人の希望開始時刻は、「8時台」45.7%が多く、次いで「9時台」33.6%、「7時台」14.3%などである。希望終了時刻は、「18時台」42.9%が多く、次いで「17時台」「12時～16時台」20.0%、「19時台」13.6%などである。

5. 病気の際の対応

(1) 病気で学校を休んだこと

問 18 この1年間に、宛名のお子さんが病気で学校を休ませなければならないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

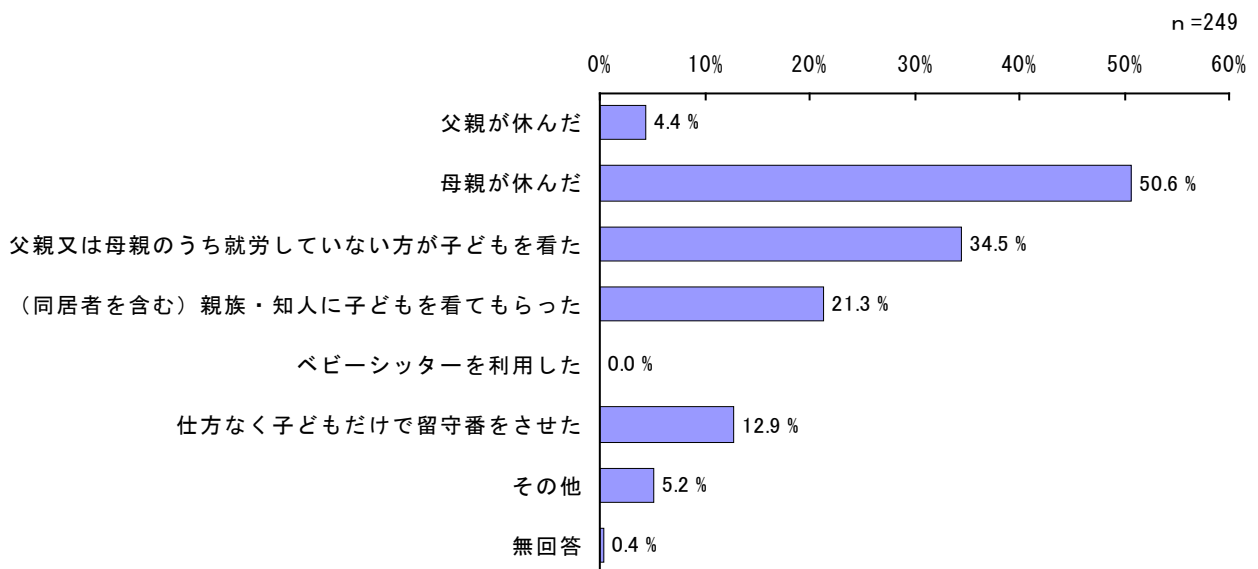


○病気で学校を休ませなければならなかったことが「あった」54.7%、「なかった」43.5%である。

(2) 対処方法

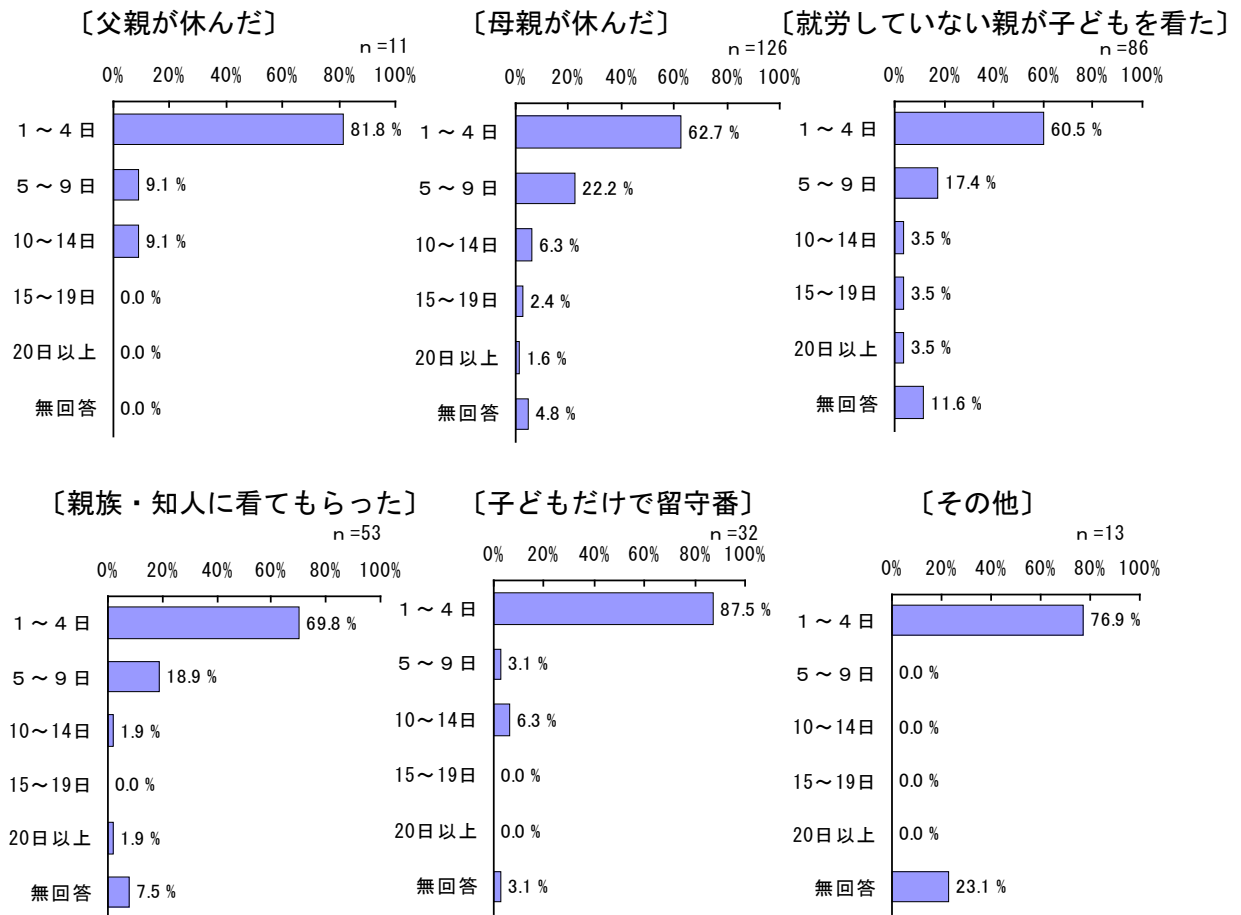
問 18 で「あった」と答えた方にうかがいます。

問 18-1 そのような場合、どのように対処しましたか。この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。



○病気で学校を休ませなければならなかったことがあったと回答した人に、その場合の対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ」50.6%が多く、次いで「就労していない方が子どもを見た」34.5%、「親族・知人に子どもを看てもらった」21.3%などである。

■ 日数

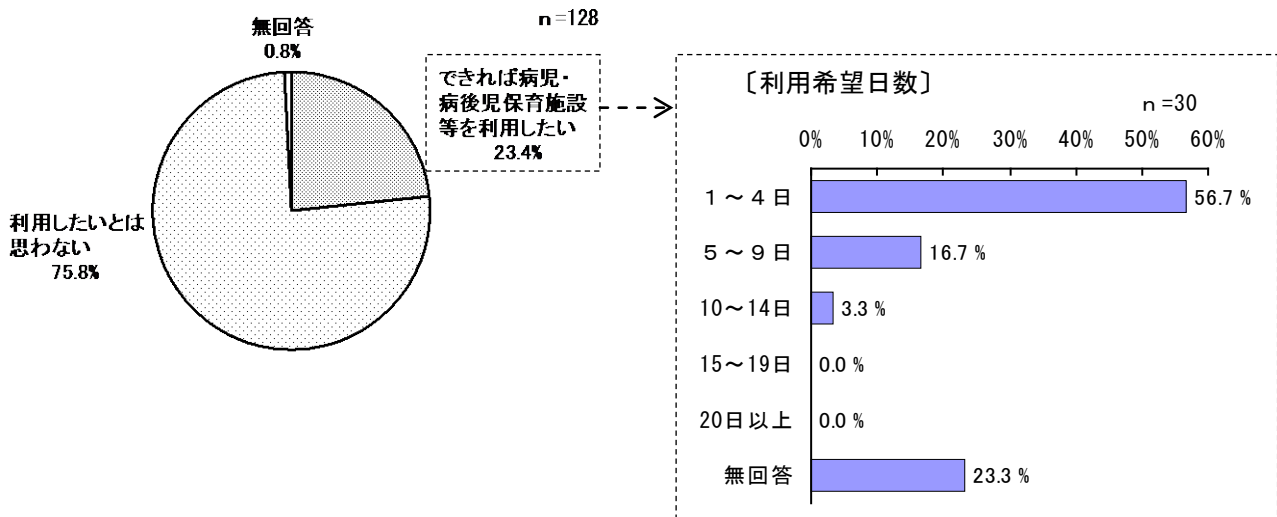


○日数は、いずれも「1～4日」が6割以上と多い。「20日以上」は、「就労していない親が子どもを見た」3.5%、「親族・知人に看てもらった」1.9%、「母親が休んだ」1.6%である。

(3) 病児・病後児保育施設の利用希望

問 18 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 18-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。



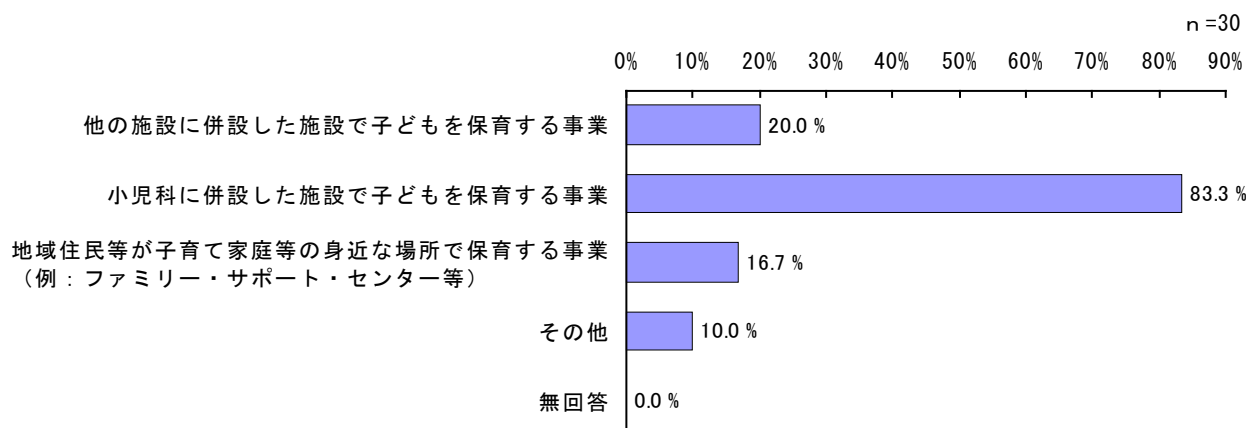
○病気で学校を休ませなければならなかったことがあった際に父親または母親が休んだと回答した人にたずねた。「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は 23.4%、「利用したいとは思わない」75.8%である。

○利用したい人の、利用希望日数は、「1～4日」56.7%が半数を超えて多い。「5～9日」は 16.7%である。

(4) 病児・病後児施設で希望する事業形態

問 18-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 18-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

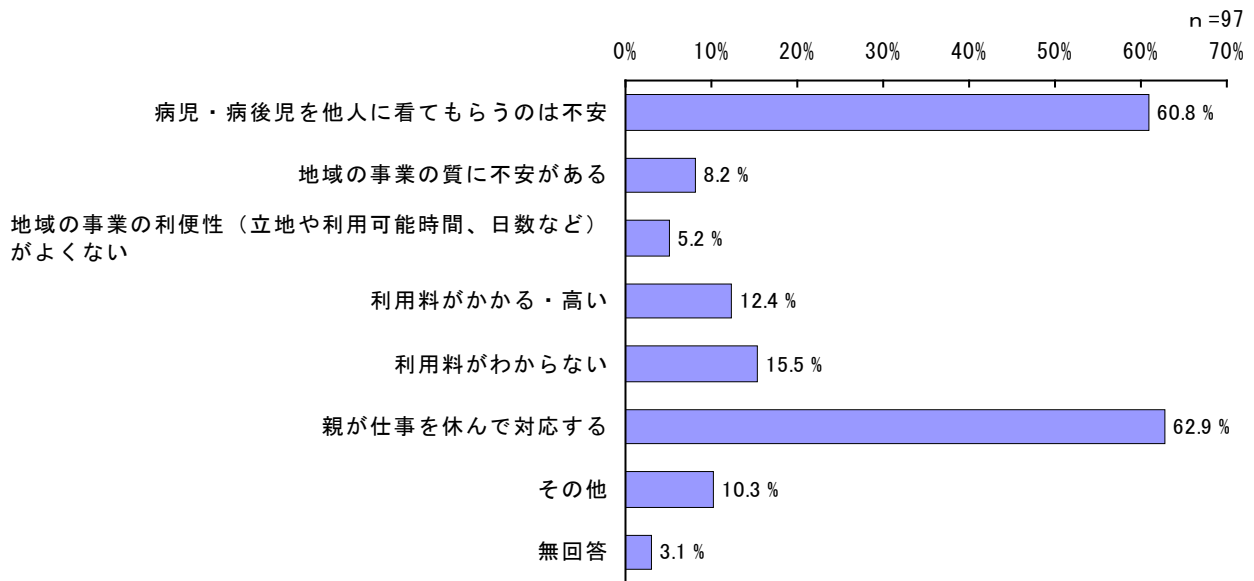


○望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」83.3%が多い。

(5) 利用したくない理由

問 18-2 で「**2. 利用したいと思わない**」に○をつけた方に伺います。

問 18-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

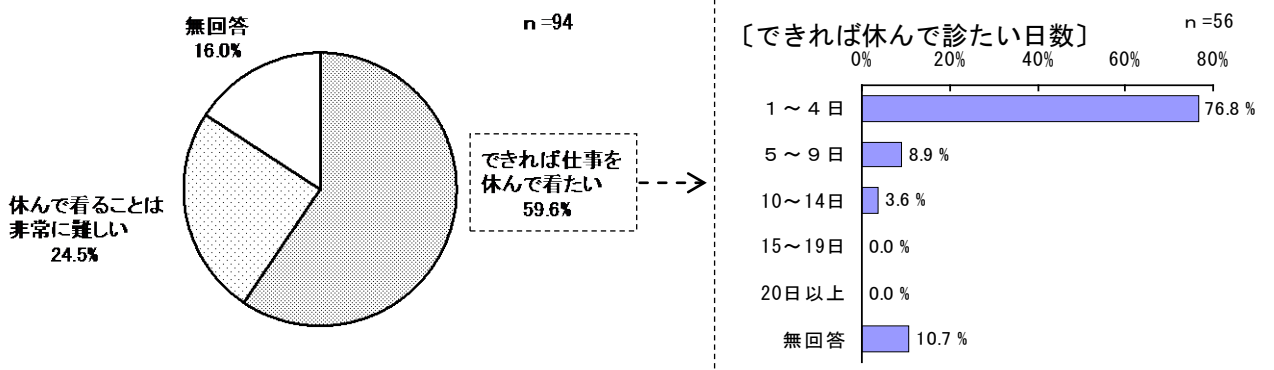


○病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わないと回答した人に、その理由をたずねたところ、「親が仕事を休んで対応する」62.9%及び「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」60.8%がいずれも6割を超えて多い。

(6) 父か母が仕事を休んで看たいか

問 18-1 で「**エ.**」から「**キ.**」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 18-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「エ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

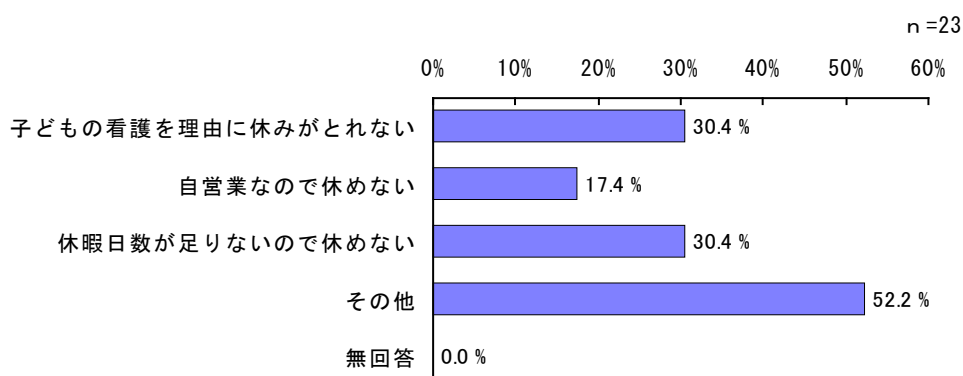


○病気で学校を休ませなければならないことがあった際に、親族・知人に看てもらった、または仕方なく子どもだけで留守番をさせた、その他と回答した人に、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかどうかをたずねたところ、「できれば仕事を休んで看たい」59.6%が多く、「休んで看ることは非常に難しい」24.5%である。できれば休んで看たい日数は「1～4日」76.8%が多い。

(7) 休んで看ることが難しい理由

問 18-5 で「2. 休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 18-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○父母のいずれかが仕事を休んで看することは非常に難しいと回答した人に、その理由をたずねたところ、「子どもの看護を理由に休みがとれない」「休暇日数が足りないので休めない」とともに 30.4%、「自営業なので休めない」17.4%である。

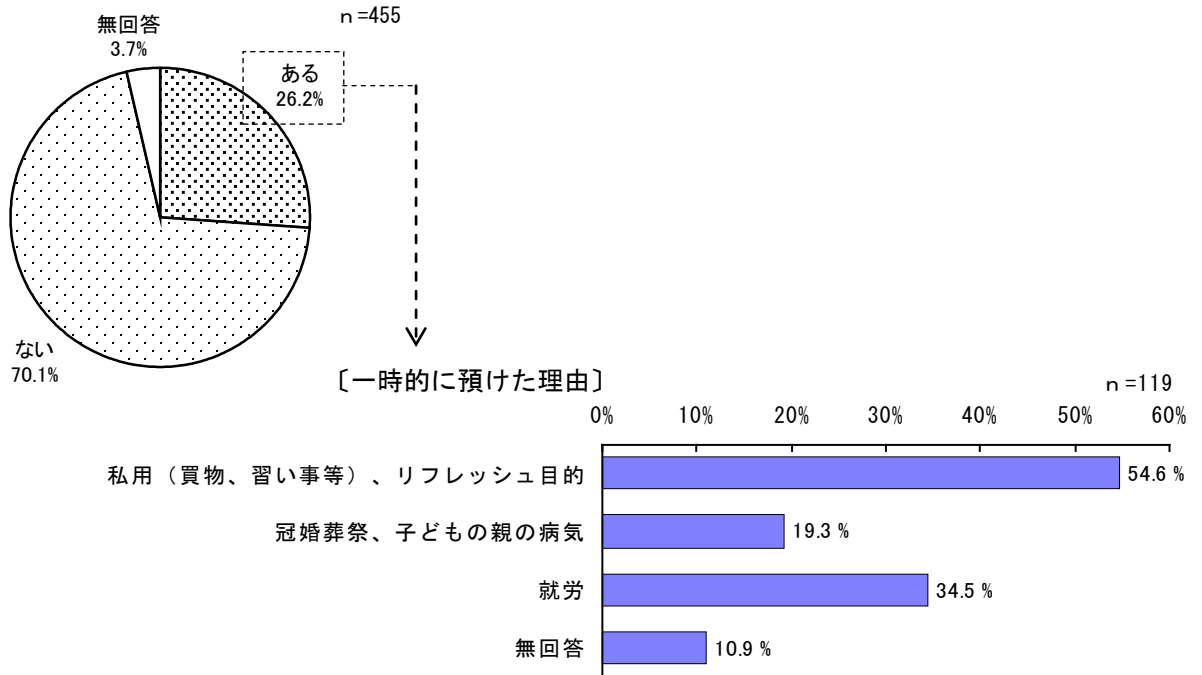
○「その他」の主な内容は、以下の通りである。

- ・受け持っている仕事を他の人が出来ないから。
- ・1人欠けるだけでみんなに迷惑がかかるため。勤務体制が厳しい。
- ・仕事は休めたが、学校行事に参加しなくてはいけなかった。
- ・下の子の用事
- ・重病ではない時は休みづらい。
- ・あまり長引くと休めない。
- ・職場に子持ちの主婦が居ないので理解してもらえない。
- ・休んだ分だけ給料も少なくなるので生活が大変になる。

6. 一時預かり、宿泊を伴う一時預かり等について

(1) 一時預かり

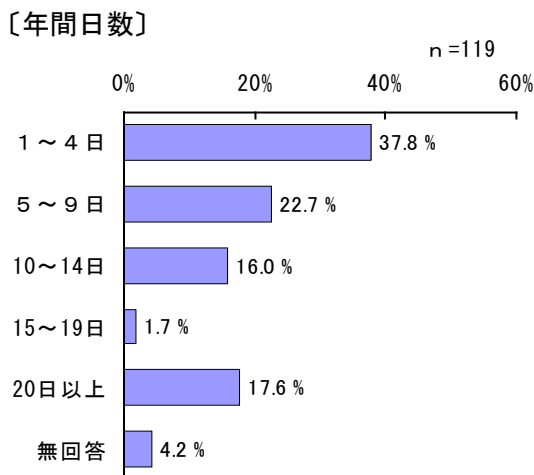
問 19 この1年間で私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。日数は口内に数字でご記入ください。※半日程度についても1日としてカウントしてください。



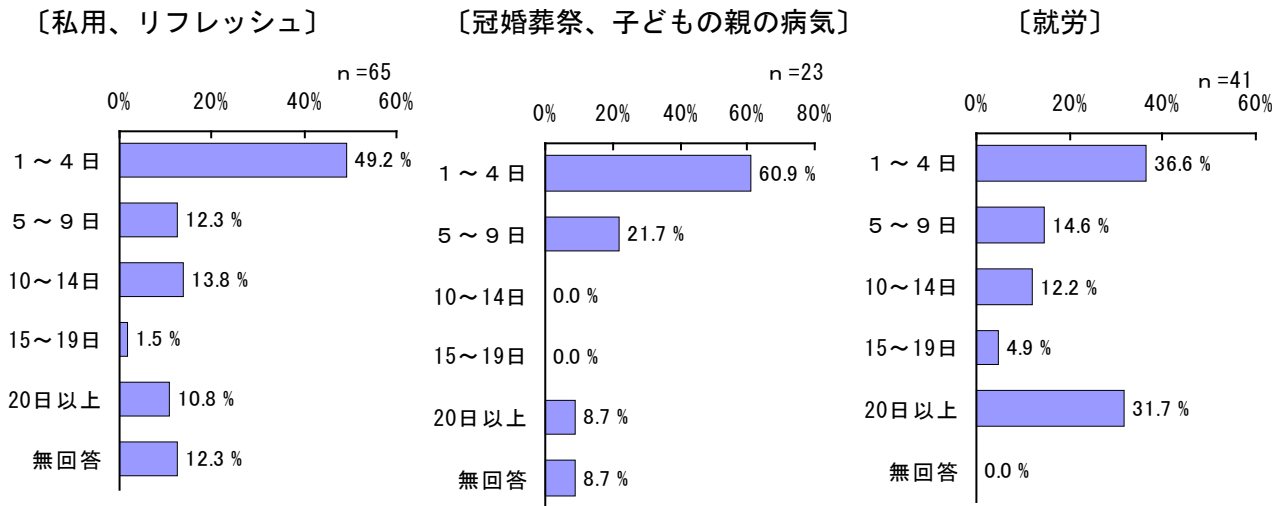
○一時的に預けたことが「ない」70.1%、「ある」26.2%である。

○一時的に預けた理由は、「私用、リフレッシュ目的」54.6%、「就労」34.5%、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」19.3%である。

■日数



○一時的に預けた日数は、年当たり「1～4日」37.8%が多く、次いで「5～9日」22.7%、「20日以上」17.6%などである。



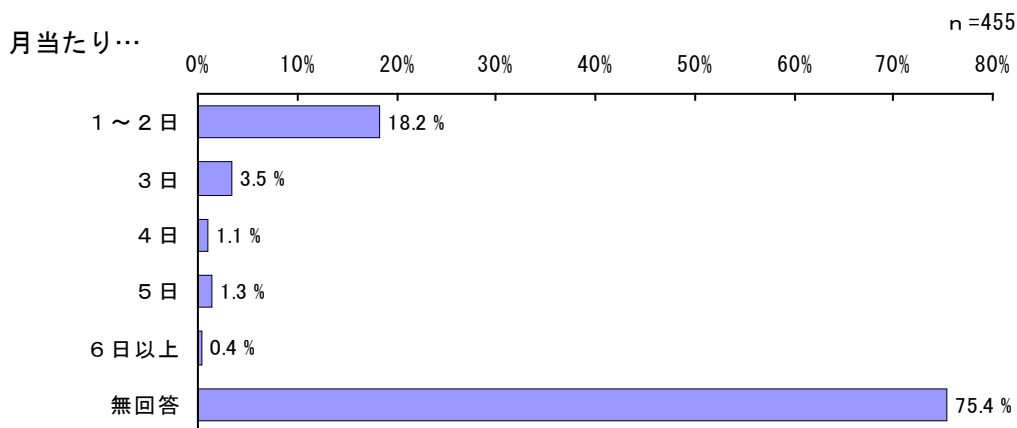
○理由別でみると、「私用、リフレッシュ」では、「1～4日」49.2%、「10～14日」13.8%、「5～9日」12.3%などである。

「冠婚葬祭、子どもの親の病気」では、「1～4日」60.9%、「5～9日」21.7%、「20日以上」8.7%である。

「就労」では、「1～4日」36.6%、「20日以上」31.7%、「5～9日」14.6%などである。

(2) 一時預かりの利用希望

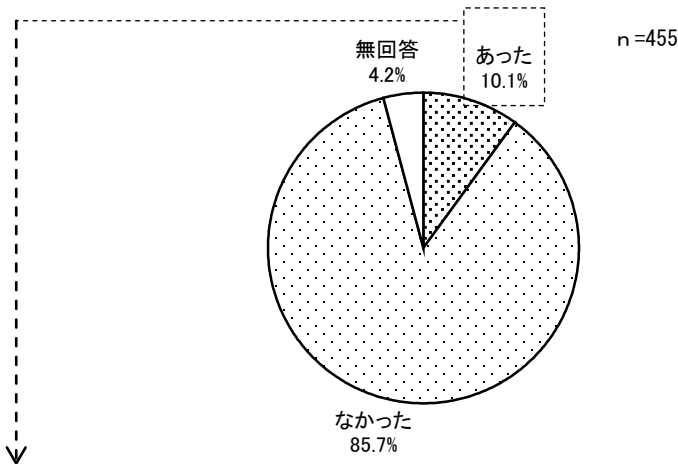
問 20 私用など問 19 のような理由で家族以外の誰かに預けたいと思うことは、今後月に何日くらいありそうでしょうか。希望がある方は枠内に数字でご記入ください。



○一時預かりの利用希望は、月に「1～2日」18.2%が多い。

(3) 宿泊を伴う一時預かり

問 21 この1年間に、出張や保護者の病気・出産などのやむをえない事情により、あて名のお子さんを泊まりがけで預けなければならなかったことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

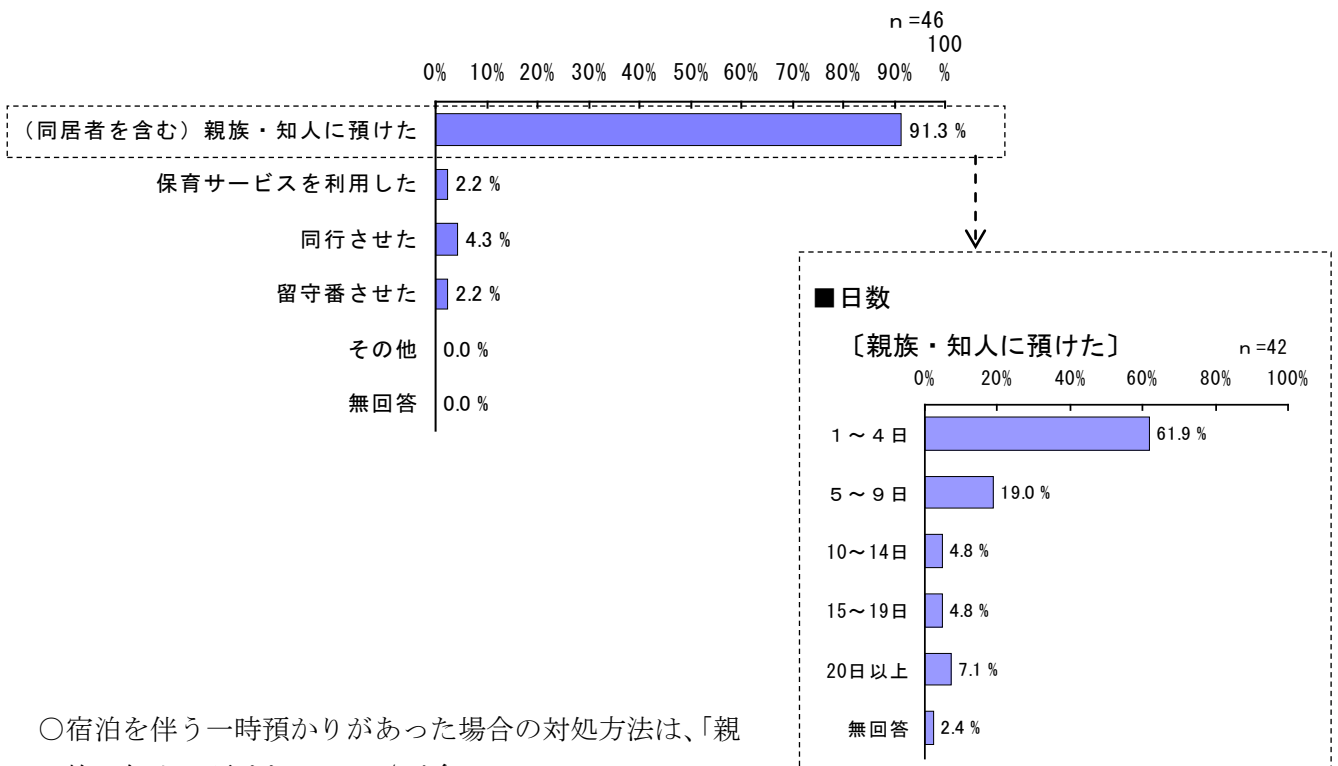


○宿泊を伴う一時預かりが「なかった」85.7%、「あった」10.1%である。

(4) 宿泊を伴う一時預かりの対処方法

問 21 で「1. あった」と答えた方にうかがいます。

問 21-1 そのような場合、どのように対処しましたか。この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。



○宿泊を伴う一時預かりがあった場合の対処方法は、「親族・知人に預けた」91.3%が多い。

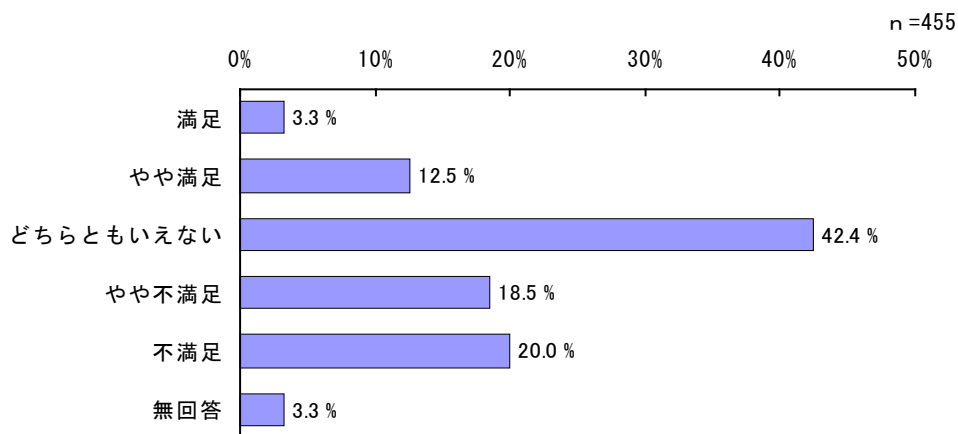
○親族・知人に預けた日数は、「1～4日」61.9%が多く、次いで「5～9日」19.0%などである。

「保育サービスを利用した」は、1人だが日数は無回答、「同行させた」は2人で1日と5日、「留守番させた」は1人で1日である。

7. 市の子育て環境や子育て支援サービス

(1) 子育ての環境や支援への満足度

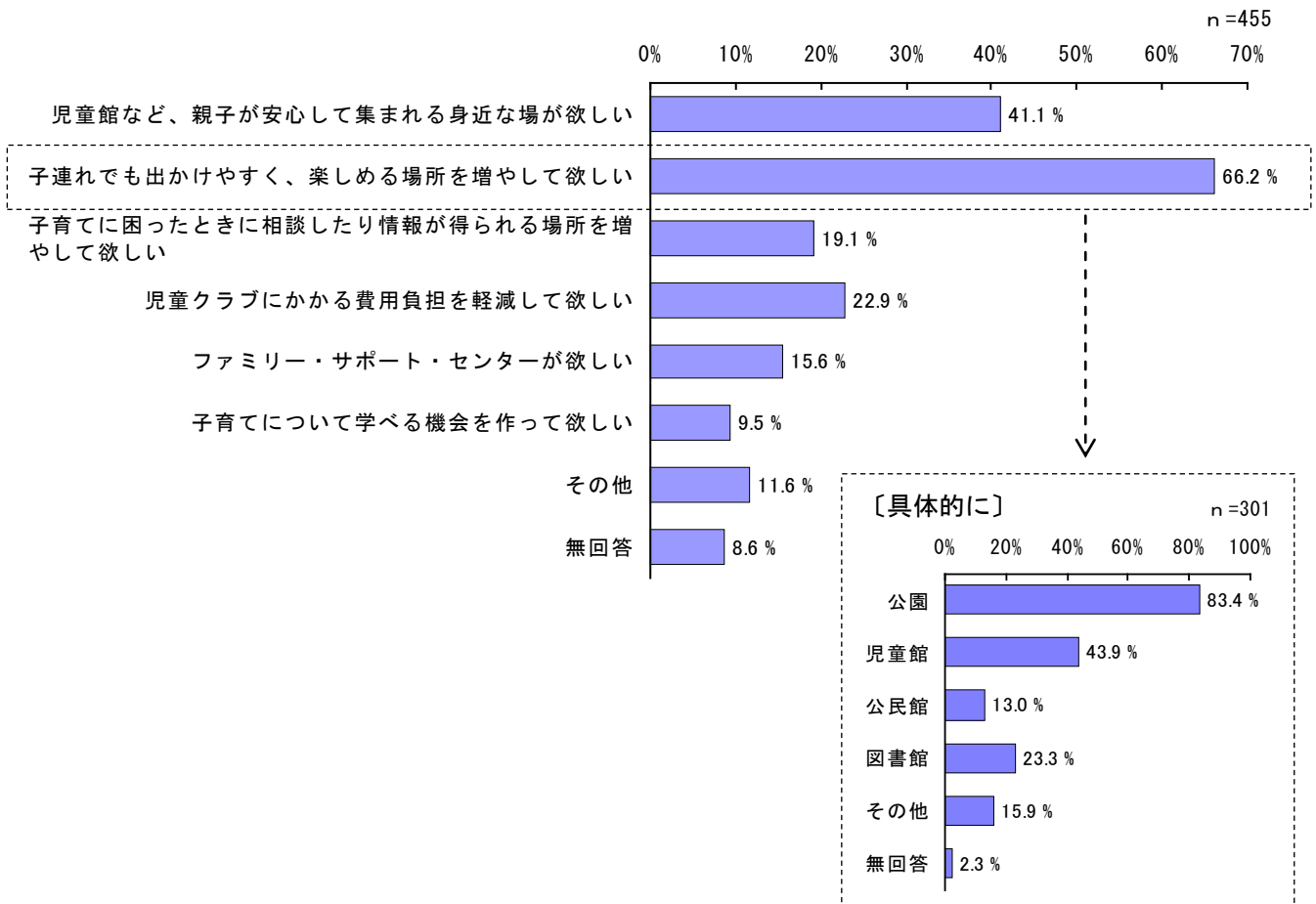
問 22 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



○満足度は、「どちらともいえない」42.4%、「不満足」20.0%、「やや不満足」18.5%、「やや満足」12.5%、「満足」3.3%である。

(2) 充実を図ってほしい市のサービス

問 23 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○充実を図ってほしい子育て支援は、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」66.2%が最も多く、次いで「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場が欲しい」41.1%、「児童クラブにかかる費用負担を軽減して欲しい」22.9%などである。

○「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」と回答した人に具体的な場所をたずねたところ、「公園」83.4%、「児童館」43.9%、「図書館」23.3%などである。